

II 調査結果の総括

1. 調査結果の要約

(1) 農牧大臣表敬

調査団は6月17日に農牧省を訪問し農牧大臣に表敬あいさつを行ったが、その際にBNF（国立勲業銀行）の所有になる土地を農牧省林野庁に引渡す件を特に依頼し、農牧大臣からただちにその手続を行う旨の回答をえた。

土地所有権の移転は、本件協力およびその後の植林業を進めていく上で、早期に解決しておくことが重要であるとの、関係者間での共通認識のある問題点の一つであることから、特にここで述べた次第である。

(2) S/W案の検討

調査団は6月17日および6月23日にメーサ局長およびカラブレグセー長官と、S/W案の内容全般につき協議を行ったが、そのうち特に重要な事項は次のとおりである。

i 調査対象地域の面積は、当初の案では国道両側の4,000 haを除いた21,000 haであったが、今回林野庁側からその4,000 haを加えて25,000 haを対象として貰いたいとの強い希望が述べられた。

その理由として、林野庁の説明によれば、その4,000 haには一部に農地が介在しているが、大部分は植林対象地になりうるものが、その後判明してきたためである旨述べられた。

これに対し、調査団としても検討し、さらに本国の関係者の了解もとりつけたうえ、バ側に25,000 haを調査対象地とすることに同意する旨伝えた。

ii カバリングの署名者に、企画庁の技術協力局長も加わることとなった。

企画庁からは、23日の会議に技術協力局長が同席して、今後の国際協力案件の重要会議に出席するとともに、S/W等の署名者としても参加したい旨、意志表示があった。

企画庁は国際協力案件の調整を行っており、各種プロジェクトの円滑な遂行に協力してきているところである点も考慮し、日本大使館打村参事官とも相談のうえ、バ側の提案を受入れることとした。

なお、企画庁は今回の措置を今後の前例としていきたいと述べていた。

iii カウンターパート研修員の受入れ

本件協力における、カウンターパートへの技術移転の重要性からカウンターパートの日本での研修について、バ側から希望表明があり、調査団は日本政府に報告する旨答えた。

iv 報告書のスペイン語版印刷

本件協力が終了すると引続いて、パラガイ政府での検討、国家事業として認知とプライオリティの付与、資金協力の申請、植林事業の実行が予定されているが、その際報告書がスペイン語で印刷されていないと、大きく支障を来す旨の説明がバ側からあった点

を報告しておきたい。

(3) 国立勲業銀行 (BNF) 総裁との会談

調査団は6月22日BNF総裁を訪問、調査対象地の所有権移転問題を中心に会談を行った。

総裁はパ国の植林事業の重要性を良く認識されており、本件協力に大変好意的な発言で終始した。

総裁は、⁽¹⁾本件協力については農牧大臣と一緒に大統領へ報告する、⁽²⁾所有権の移転問題は大統領、農牧大臣とよく相談してきめる、⁽³⁾本件調査のため日本チームが調査地に入り、調査を行うことは了承する、また、BNFからもカンタパートを出す等、調査団の質問に答えて、発言した。

(4) BIDでの事情聴取

BIDとしてはカビバリ地区の植林プロジェクトについては、未だ具体的なことは聞いていない。

しかし、林業でも農業でもパラガイの開発につながる良いものであれば、大いに計画を作って貰いたい。我々としてはそれを歓迎する。

特別基金からのソフトなローンの貸付は申込みが多いので、各種の条件から検討して、貸付が決定される。

各種の条件とは、⁽¹⁾第一にパラガイ政府のプライオリティ、⁽²⁾雇用の創設につながるか、⁽³⁾収益の上がりにくい事業であるか、⁽⁴⁾輸出の拡大につながるか、⁽⁵⁾各種の事業が含まれた総合的なプロジェクトであるか、⁽⁶⁾その国の開発の現状が低いものであるか (A.B.C.DとあってパラガイはDランクであって優先度が高い)、⁽⁷⁾利益を生みにくい社会基盤の充実が図れるかどうか、等々である。

中南米では植林の機運が高まっている。林業部門へのBIDの貸付の先例がホンジュラス、チリ等にあるので、それらをよく調べると、パラガイの計画を作る際に大いに役立つ等であるとのことであった。

(5) カビバリ現地の情況

BNFの所有になる地域の境界が明確になっているか、また、それが十分管理されているかどうかは我々調査団の最大の関心事であったが、結論的には、境界は明確であり、その管理はおおむね十分であると判断された。

対象地の外周は、⁽¹⁾あるいは刈払いが行われているか、⁽²⁾道がついているか、⁽³⁾植林されているか等により区分されていた。ただし、内側の入植地境いは図面上で区分されているのみとなっている。

また、管理の方は陸軍を常駐させ、また人を使って巡回させるなど、新たな不法侵入者のないよう十分な管理が行われていた。

(6) イグアス植林地の調査結果

箱根植木による植林はパラガイで実行されている植林例の中にあつて、現在のところ規模・成績ともに第一級のものである。

テラロシア地帯の良質の土壤地であることもあつて、各種の試験造林はおゝむね良好である。

また、木場作農業の手法も採り入れて成功しているところから、カビバリ地区の植林事業に明るい希望を与えるものである。

2. 本件協力のための考察

(1) 第一にパラガイ政府、農牧省、林野庁の夫々が本件協力およびその後のカビバリ植林事業に真剣に取り組むことで、少くとも今回我々調査団に関係者が示した熱意を今後実際の行動で示してくれることである。そうすれば、当面する問題、あるいは将来発生する問題も、容易に解決していくことが可能な筈である。

(2) カビバリ植林事業の成功のカギは、これまでも述べた如く、土地の所有権移転と資金調達である。

我々調査団としても大臣、総裁、局長レベル以上の多数のパラガイ政府高官と直々に意見交換を行い、そして大統領にまで、本件協力とその問題点解決のための報告をして貰うことにしたので、本件協力の成功への努力は十分に果したものとする。

(3) 本件協力の成功とパラガイ政府による資金協力の努力が将来実現されたときは、次のプロジェクト協力の検討も必要となってくる。

また、そのときこそ現在行っているCEDEFPOの協力が一層評価されるときでもある。

2~3年先のことを云うのは早いかも知れないが、本件協力はパラガイの林業開発の将来にとって、極めて重要なものであるだけに、この成功のために我が国の関係者からも特に御支援を得られるようお願いして、総括部分のしめくゝりとする。

田 調 査 結 果

1. 世界銀行本部打合せ

6月15日 世界銀行本部林業課石川竹一氏(前林野庁職員)と電話にて打合せを行なった。

I.R.R.について

10~13以下なら借さない。

15~21が普通であり、30以上という場合もある。

金利等、借出条件

すべて12~13%であり、貸付条件は、

5年すえおき30年償還

事業期間 5年

低利融資の可能性は、世銀としてはない。

世銀グループには、他に第2世銀があり資金需要が多いため82年度は、GNP730us\$ / 1人を融資資格上限としている。

貸付条件は、

借入残高×0.75%……手数料

据置10年 償還期間50年 最初10年元本の1% 30年 3%

世銀が融資している林業プロジェクトの規模

ふつう 1万ha~2万ha(最近では5,000~36,000haまである)

プロジェクトタイプとしては次の形がある。

林野庁の行なう造林

工業造林

Social forestry

外・内貸分

内貸分も含め65%程度まで貸出する。

世銀の林業課 10人 (BIDは1人)

12%の余利で、事業実行が可能か?

今までのところ熱帯では成長が早く、日本の林業利率は3~4%かも知れないが、条件の良い所ではIRR30~40というケースもある。

世銀としての造林プロジェクトへの態度

良い案件であれば

世銀を使うとすれば、大歓迎である。(BIDも同じはずである)

話のもってゆき方 世銀は、個人で動いているので、特命して依頼するのがよい。

例えば石川を特命で、指名すれば、石川がパラグアイへ出張することもできる。コンサルへのコンサルもできる。

また本件について、コレクトコールで、打合せも可能となる。

特命の方法

政府のしかるべき者から letter をくれればよい。

「融資の可能性についてみてほしい」という内容

日本との共同資金供与

可能であり望ましい。

2. 農牧大臣表敬打合せ(6月17日)

(1) 訪問者

- ① 調査団 3名
- ② JICA, ASUNCION支部(前田、大石)
- ③ CEDEEO: 佐藤専門家

(2) 相手方

Minister, Ministry of Agriculture and Livestock
Director, National Forest Service, Ministry of Agriculture and
Livestock (Ing. Agr. PEDRO. F. CALABRESE)
Director, Technical Cabinet, Ministry of Agriculture and
Livestock (Ing. Agr. OSCAR MEZA ROJAS)
Planning Adviser, Ministry of Agriculture and Livestock
(Ing. Agr. SHIRO HIRATA)

(3) 場所 Ministry of Agriculture and Livestock 大臣室

主な応答内容

団長)

Capiibary 地区森林造成調査の S/W 調査団として我々は派遣された。今回の訪バの目的は、Capiibary 地区の森林造成に係る調査について関係の方々と協議し、その調査内容等につき合意事項の議事録を取りまとめることにある。ついでには関係の方々の御協力をお願いしたい。また、Capiibary 地区の森林造成 project の実行に当たっては、当該地区の土地所有権移転問題の解決が大きな問題点なので、よろしく願いたい。さらには、実行に当たっての資金の額も相当のものとなるので、その確保も大変重要である。

大臣)

調査の実施に当たってはバ国政府として、また、農牧省として協力を惜まない。土地の所有権移転の問題については至急取りかかります。資金問題の重要性もよくわかります。

また、再度打合せしたいことがあれば、いつでも会います。

3. 林野庁長官打合せ（6月17日）

（S/W（draft）について説明）

(1) 調査対象地域について

（バ国側）

調査対象地域が21,000 haとなっており、国道の両側が除かれている。25,000 ha全域がBNFから戻ってくるので25,000 haを調査対象地域として欲しい。前回のMISSIONには、除くようにといったわけではなく、国道の両側2kmの範囲には移住者がいて、農地となっているところもあるので、調査の中で、それらの状況も明らかにして欲しい旨申し上げたものである。

（日本側）

調査対象地域については、前調査団とバ国との意志疎通不十分のところもあり、検討することとした。（注、バ国の申し出については理解できるのでJICA本部に電話にて、S/W協議団としては25,000 haにすることはやむを得ないと考えている旨連絡し、判断を仰ぐこととした。）

(2) 調査スケジュールについて

（バ国側）

バ国においては、5、6月に翌年度予算案をとりまとめる。林野庁予算もその時期に農牧省内で取りまとめられるので、このプロジェクトを85年以降実行したいと考えており、そのためには84年の6、7月に作られるPreliminary design and planningを4月ごろにいただきたいと思うがどうか。

（日本側）

84年の6、7月に作成されるPreliminary design and planningは、そのような用途（予算要求資料、また、スケジュールとしては、FINAL REPORTができた以降、85年の残余の期間にPROJECT実行のための資金援助を受けるための準備期間とした方がBetterだと考える。

（バ国側）

了解

(3) Final Reportについて

（バ国側）

Final Reportは西文でいただきたいがどうか。

（日本側）

Final reportについて西文では日本側で審査できないので英文でなければならぬし、西文翻訳の経費は支出できない。しかし、現実には、西文でないとバ側に活用してもらえないので、PROJECTの実行過程で何らかの解決を図りたい。たとえば、翻訳をバ側でやり、日本側で印刷をするという形が考えられる。これはMemorandumで書くことにしたい。

(4) カウンター・パートの日本での研修について

(バ国側)

カウンター・パートの日本での研修について特段の配慮を願いたい。

(日本側)

カウンター・パートが日本で研修を受けることは大変有意義である。しかし、S/Wには明記できないし、メモランダムにも残せない。これは、JICAの段階で決まることでなく、年毎の予算で枠が決められるからである。帰国してこの件は伝えます。約束はできないが、実現すると思う。

(バ国側)

よろしく願いたい。

(5) S/W (draft) IV-2-(3)について

(バ国側)

CAPILBARYでの事務所は困難であるが、ASUNCIONの事務所は林野庁(2部屋は常時、会議室は適宜)を使っていたらよい。

(日本側)

了解

(6) S/W (draft) IV-2-(5)~(8)について

(バ国側)

バ国において予算は揚上するが、十分ではない。

(日本側)

これらの件については、バ国側でどうしても負担できないならば日本側が実行上負担せざるを得ないので、メモランダムに書くことにする。

4. ストロエスネル林業学校視察(6月18日)

面会者(案内者) Ing. Kovacs 校長

同校については、1973年に設立された。現在も教育訓練校として続いており、卒業生は、約6割が農牧省林野庁、その他は種々の職についている。

現在の運営費はすべて農牧省が負担している。この学校には、1968年植栽のスギ、エリオッティ松、パラナ松、テーダ松がある。

視察したところ、エリオッティは平均胸高直径20cm 樹高16cm、テーダ松は、平均胸高直径20cm 樹高14cm程度であった。

同校長の上記樹種についての意見は、「パラナ松が良い。この樹種は、14.5年まで成長が遅いがその後成長が持続する。また、消費者にも材質が良く好まれる」とのことである。

なお、同校は、ここ数年邦土樹種の造林を始めているとのことであった。また、木炭については、昨年同校で製作販売したが、その価格は、7~8g/kgであった。

〔付〕 木炭生産販売コストについてのメモ（C/Pからの聞き書き）

1. アズソンシオン市内の木炭の小売値は現在35円/kgである。
2. 生産コストは、5円/kg程度（日本側の計算では5～10円/kg）
3. 輸送コストは、カビバリからブラグテイ川まで2円/kg

川からACEPAR製鉄所まで1円/kg程度

以上から、カビバリ地区における木炭生産については、十分可能性がある。

なお、先に、前回調査団に対して、効率的な木炭製造技術についての協力依頼があったが、その意味は、在来技術での製炭は可能であるが、大面積で大量に製炭する技術があれば、裕しいとの意味とのことである。

5. イグアス移住事業所打合せ

6月18日 所長

土地評価額に関し、同移住地の分譲価格は、30haのロッテを単位として、2万円/ha（道路つき、天然性2次林）である。

事業所内の移住地で、造林をやっている人はほとんどいない。なお、事業所が、ごく小規模（1ha未満）の造林をしているのを見かけたので、樹幹解析のため伐倒してよいかと質したところ、数本なら問題ないだろうとのことであった。この事業所でもとまったことは、入植者以外の人による原生林の不法伐採が行なわれているが、取締りの方法がないとのことである。

また、同移住地内の数少ない造林家である長野氏に話を聞いたが、造林したものの需要先が問題だとのことであった。

6. 箱根植木造林地調査

6月19日 塩水流 現地駐在員

同社は、イグアス移住地内の用地の分譲を受けて、300haの植林を1976年12月から5年間行なった。現在は、保育及び枝打ちの時期にある。近々行なわれるべき間伐の販路は、見つかっていない。同社の事業資金は、国際協力事業団の林業投融資課が、所管している試験的造林事業に対する融資により初期投資をまかなっている。この融資条件は、貸付人が、本邦法人であること、融資率100% 利率0.75% 償還期間20年（内据置5年）となっており、利率については、極めて好条件である。

しかし、投下資本の回収ができない間に6年目から返済が始まるため、造林事業のみで、事業を行なうとすれば、一般市中銀行による借り替えが必要となっており、結局は、0.75%の金利は、底上げされる仕組みとなっている。

同社の本試験的事業に対する取り組みは、極めて熱心なもので、現地試験にもそれが反映されており、好感が持てる。

今回の調査の目的であったアグロフォレストリーの可能性については、次のとおりである。

(1) アグロフォレストリーに対する「バ」国林野庁の認識

同国には、全く例がなくカラブレンセ長官も同社が、実施していることを知らなかった。調査団は、林野庁に対して、土・日曜日にもかかわらず本件・調査に対して、C/Pの配置を要請していたが、これが認められ、また、現地においても熱心に質問していた所から、一定の認識を深めたものと思われる。日時が前後するが、最終打合せにおいて、道路沿線農民のアグロフォレストリーへの参加について、同長官が言及していたことからこのことは、確認できる。

(2) アグロフォレストリー導入の場合の作目について

ア、ブラジル人が「バ」国で開拓に入る場合、まず、「ハッカ」「トーモロコシ」を作付する。ハッカを取扱う場合の最少面積は50haである。畑で煮つめ、ドラムカンで販売することとなるが、蟻が寄ってこないこと、除草効果が高いことのメリットがある。

イ、箱根植木では、大豆、トーモロコシ、マンジョカイモ（2種類）を試験的に導入している。

小麦については、冬作なので、除草には、役に立たない。

ウ、植付間隔

4m×1.5m巾としている。これは、農業機械の使用効率と作付回数設計により決められる。

4m巾で2作

アルゼンチンでは、2m×2m巾で植付、1年トウモロコシ1年下刈の方式で、実施しているとのこと。なお、作物を導入すれば、完全に下刈不要ということではなく、植栽した樹木の列の両側40cm程度は手刈とする必要がある。

(3) アグロフォレストリー導入の可能性

作付収支及び下刈経費は次のとおり

下刈経費 4～5万B/年・ha

作付経費 4万B/ha

収入	価格	収量	収入
トウモロコシ	例年10B/kg		4万B/ha
	今年16～17B/kg	3～5t/ha 4t(いい方)	6万B/ha
大豆	32B/kg	1～2t(2tはMaximum)	15tとして 48000B/ha
マンジョカイモ	3～12.3B/kg	30t マーケットが問題
ハッカ	不明		

(価格収量については、市況、天候によって、大きく変動する。)

以上から、アグロフォレストリーによって、下刈費用の軽減の可能性は十分に認められる。

(4) その他

当然のことながら、農作物には、品種がいろいろあるので、これの選択が必要である。

また、実行形態についても農民の自由作付にまかす場合、事業体が直営でやる場合等種々の形態が考えられる。

7. カピバリ地区現地調査

(1) 管理状況

Capiibary 地区には約10万 ha の BNF 所有地があるが、現在は、その管理は、BNF から依頼されたバ国軍隊 (FINAP 社製材工場周辺集落に駐屯している) によって行われている。

今回、調査対象とする約 25,000 ha の区域については、BNF によって実測がなされた測量成果、図面 (1/75,000) が保存されており、現地に駐屯しているバ国軍隊も、この図面により管理を行っている。

現地駐屯軍隊々長、現地管理人及び現地住民の談話を総合すれば、境界の状況は概ね次のとおりである。

①～② (番号は、図1を参照 以下同じ)

エリオツティ松を巾 150 m で植栽している。それに沿って人 or 馬が通れる道がある。

②～③

人 or 馬が通れる道がある。

③～④

人 or 馬が通れる道に沿って牧欄が設置してある。その牧欄は約 2,700 m ある。

④～⑤

馬車が通れる道 (巾 15 m で伐開)

⑤～⑥～⑦

巾約 1.5 m の道がある。

⑦～⑧

同上

全体的に管理を行うため道になっている。FINAP 社所有時代から現地に居住しており、現地に詳しい人の話によれば、FINAP 社所有時代に有用樹は相当伐出した、また、道路は、図面に記載してあるだけでなく、他にも Jeep であれば、通行可能なものはある、また見回りは、ひんぱんに行っており、他者がいけば (不審な者?) 追いつくようにしている、このことである。

(2) 現地状況踏査結果

①について

国道より Jeep 車で約 15 km の地点まで入った結果では、調査用務だけであれば、十分通行可能である。

⑩について

国道より徒歩で約30分(2km)の地点に境界を示す(現地住民による)木杭(径20cm高さ1m)が存在し、道巾約2mでひんぱんに利用されており、橋修すればJeepの通行も可能と考えられた。

⑪について

国道より約1km(Jeepによる通行可能な地点)まで入った。その先は、細い道になっている。隣接地は自然原野状になっている。

当該地点のエリオッティ松の成育状況は、DBH:22cm~24cm、H:13~15mで植栽は1.5m×1.5mの方形植、10年~12年生である。

今回の調査により考えられることは、調査対象地25,000haの区域(外周)は、道路等により隣接地と明確に区画されており、一部問題はあるが、全体としては比較的良好に管理されている。また、道路についても、一部補修することによりJeepでの通行が可能になる車道は少なからず存在する。ただし、一部問題があるのは調査対象地東南部に入り込んでいる農民介在地であり、この境は、図上にあるのみで現地では識別できない。

8. 国立勲業銀行(BNF)表敬・打合せ(6月22日) 午前8:05~午前9:10

傍聴から概略以下の説明があった。

- (1) 農牧大臣からMISSIONが来ることは聞いている。バ国にとって意義深いと考えている。昨年10月訪日し、JICAで種々話を聞き、いろんなPROJECTが考えられているのはバ国の発展にとって望ましい。BNFとしても林業には力を入れたいと考えており、PROJECTができるなら協力を惜まない。
- (2) CAPLIBARY地区の当該地域の土地の所有権の移転問題については、その位置、面積を明確にしてもらわないと前に進まないが、いずれにしても当該地域は国有地なので、大蔵省、農牧省がどうするかを決めることになる。BNFとしては、たとえば他の土地と交替するなど、いろんな方法が考えられる。このプロジェクトについては農牧大臣と一緒に大統領に伝える。また、農牧大臣が国家経済審議会に報告すると国のプロジェクトとして始まることになる。

注) 国家経済審議会(関係閣僚による意志決定機関である。)

9. 米州開発銀行打合せ

6/22 AM 10:30~12:00 面会者 JORGE ZIMMERMANN

6/24 AM 8:00~9:30 EDUARDO CASATI

なお、6/24の調査は、ZIMMERMANN氏がなかなか話の好きな人で、6/22には話が、前に進まなかったため、再度依頼して行なったものである。

また、専門用語が多く、担当した通訳も対応し切れない部分もあり、語意のとり違えの可能性もあるので、以下の記述にはその点留意して、理解願いたい。

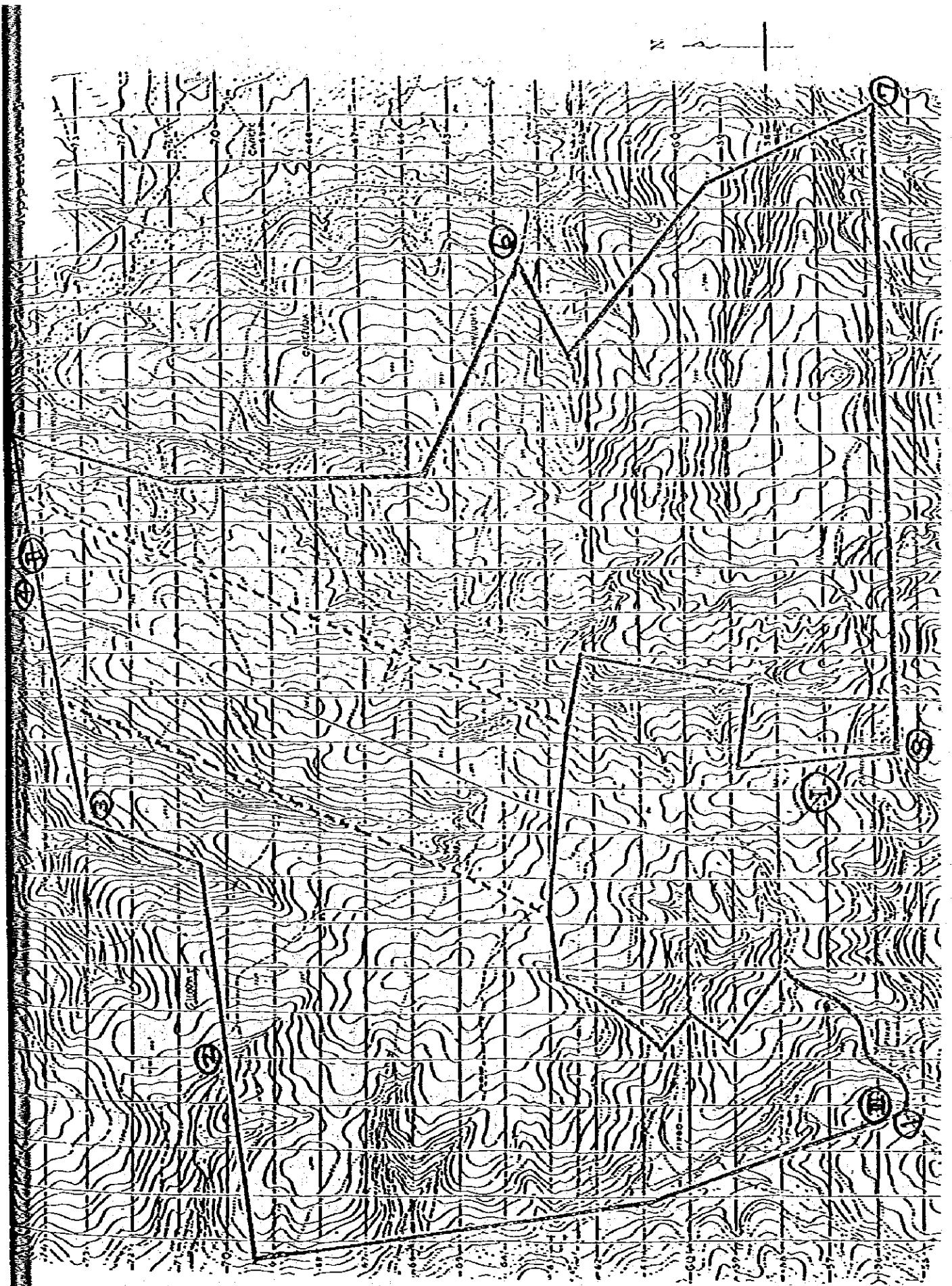


圖1 管理狀況と現地状況

BIDとの打合せのために用意した質問事項は、次のとおり。

(一般事項)

1. IRRは、案件の採択にあたって、どの程度以上必要か。
2. 特別基金を適用し得る条件は何か。
3. BIDの造林プロジェクトの融資案件に係る報告書をもらえないか。
4. 融資審査(申請)に必要な reporting manual をもらえないか。
5. BIDの「バ」国への融資実績を知りたい。

(カビバリプロジェクトに関し)

6. BNFの土地に農牧省が、使用権を設定した形で、融資上問題あるか。
7. 造林面積規模を縮少のすべき理由は何か。

SFNの能力を考えてか、他にも理由があるか。

(回答)

1. IRRについて

一般基金については、IRRは12以上の必要がある。

2. 特別基金を適用し得る条件

(1) 特別基金の中南米における資金量は限られ、5億 us\$ であるのに対し、資金需要は5倍ある。

従って、その国がプロジェクトに対するプライオリティをどうつけるかが、第一条件である。まず、国が特別基金で申請することが先決である。

(2) 案件を採択するかどうかについては、

BIDは、融資申請を待って検討することになる。

① 「バ」国の融資上の位置づけは、Dランク(最も優先すべき国)にある。

② プロジェクトの内容としては、次の事項を含むこと。

- 小中農利益に資すること。
- 雇用の拡大に資すること。
- 輸入代替又は輸出の拡大に資すること。その他

(関連質問)

特別基金について、直接SFNに貸すことができるか、又は、BNFを通じる必要があるのか。

Ans. 「バ」国プロポーザルがBNFを通すように仕組むかどうかによる。SFNに直接貸すこともできるし、BNFが間に入って同じ金利で転貸することもできる。それは、国が決めることである。

3. 造林融資に関する報告書

日本からBID本部(ワシントン)に言えばもらえる。

大使館を通じても可能である。

4. 融資申請の reporting manual

さし上げる。(別添巻末資料「Guid para la Formulacion de Solicitudes de Pnestamos Agricultura - Desarrollo Forestal」参照)

5. 「バ」国への融資実績

農牧省関係について、説明あり。

6. 土地の使用権を設定した形での融資

できない。

7. 造林面積規模等及び林野庁の能力

明確な答なし。まずプロジェクトの概要を教えてほしいとのこと。

当方は、次回調査チームが概念的説明をしたい旨述べた。

(その他の質疑事項)

1. IRRの計算において、販売及び経営について、インフレ等を計算因子に組み込んでよい

か。

よい。

2. 「バ」国についてのBIDとしての融資枠というものはあるのか。

あるが、調整する余地はある。

また、「バ」国としては、大蔵大臣がプライオリティーをつけることとなるので、農牧大臣が大蔵大臣に申し入れることとなる。

3. BIDの林業融資について

林業融資が少ないので、林業融資の委員会ができています。

「バ」国にも来ており、カラブレッセ長官も会っている。

4. 実行組織はどのように仕組みは良いのか、林野庁と別組織にする必要があるか。

別組織にする必要はない。林野庁は「力」がないので、農牧省が資金の管理をすることとなろう。

5. 一般基金と、特別基金の中間の金利はあり得るか。

あり得ない。IRRが11以下の場合にはIRRは、関係がなくなる。

6. BIDの融資プロジェクトの形成について

2つの形がある。

ひとつは、政府が申請する場合及びBIDがプロジェクトを選定し、政府が調査し申請するか、又は、政府の申請による場合がある。

7. 申請から融資までに必要な期間等

申請の時期：随時受け付ける

また、毎年、年末にBID missionが巡回し、3年先の分まで調査に来てくるがその時でもよい。

融資決定までには6~8か月期間がかかるので、申請は早い方がよい。

8. 事業期間が10年間でも借りられるか

南米への造林の必要があり、BIDの中の林業委員会が、技術協力及び資金協力について勉強しているので、可能である。

9. 今後の調査においても協力していただけるか？

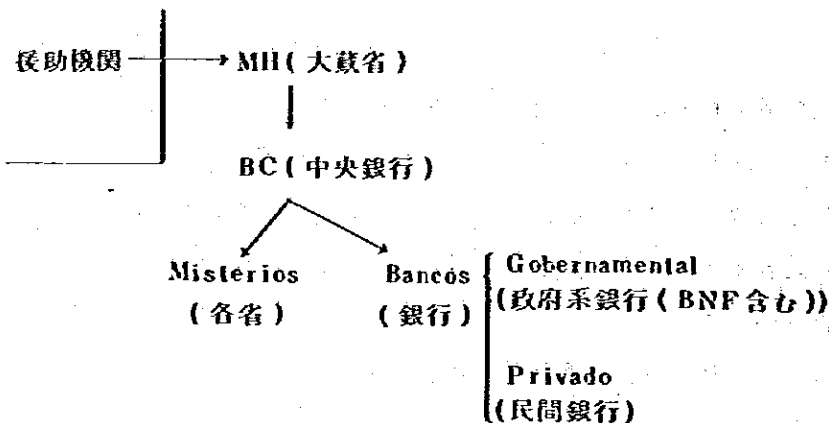
「総裁を始めとして、職員一同いつでもパラグアイBID支部への質問に答える。なお、ホンジュラス、チリ等のレポートをぜひ入手することをおすすめする。非常に参考になると思う。また、プロジェクトの内容についてももう少し説明してほしい。」

以上に対し、協力を感謝する旨述べ、プロジェクトの内容について、次回調査団が、概念的説明を行なうこととした。

〔付〕「バ」国内での外国援助資金の流れ及び農業関係融資機関

(平田専門家に調査願ったものである。)

外国援助資金の流れ



(注)

Cade credito tiene decreto

体系的な法律はなく、プロジェクト毎に上記の資金の流れ及び実施機関等を定めた法令を作る。

農業関係銀行

	BNF (Banco Nacional de Fomento)	CAH (Credito Agricola de Habilitación)
支店数	45店 内1はチャコ	22店 内1はチャコ
本店	アスンシオン	アスンシオン
従業員数	全体937人(634が本店 374が支店) 農業技術者 93人	全体178人(本店91人 地方87人) 技術者 75人
資本金		800百万G (近く15億Gにする)
貸付金	1980年 14,070 百万G 1981年 21,374 " " 内農業部門 12,527 " (58%)	1980年 631 百万G 1981年 678 " "
金利	約年18%	年12% + 2% (コミッション)
頭取	Sanguina	Ing. Agr. Esteban Medina
貸付先	農業、工業、商業すべてを対象	小農、農場を対象

この他に牧畜のみを対象とした Fondo Ganadero (牧畜基金)がある。

10. S/W 協議及び署名(6月23日)

S/W 署名に先立ち DRAFT について意見交換を行い、疑問点等の確認を行った。その概要は次の通りである。

(1) 調査対象地域の特定について

(バ国側)

「…… ON THE AFFORESTATION PROJECT IN CAPIIBARY, REPUBLIC OF PRAGUAY」という表現であれば CAPIIBARY という地名は「バ」国内に3ヶ所もあるので調査対象箇所を特定するため「…… ON THE FORESTATION PROJECT IN CAPIIBARY, DEPARTMENT OF SAN PEDRO, REPUBLIC OF PARAGUAY」に修正して欲しい。

(日本側)

了解する。

(2) 調査対象面積について

(バ国側)

現在 BNF の地権のある土地は、全体で 27,000 ha である。そのうち BNF が黙認している農民入植地が 2,000 ha あるので 25,000 ha を調査対象地として欲しい。

(日本側)

調査対象地域については、前回(6月17日)のバ国の申し出を検討した結果 25,000 ha にすることとしたい。空中写真を撮影することによって国道の両側に存在すると考えられる農地は、その位置、面積が明確になる。それらの農地は、林業経営の対象地とすることは適当でないと考えられるので結果的に今回の調査、検討の対象からは除外することになると考える。

(3) 空中写真の現像について

(バ国側)

空中写真の現像は、バ国としては、日本でやって欲しいが Project の実行上日本以外の第三国で現像されることはやむを得ないことだと思ふ。

(日本側)

空中写真の現像を日本以外の第三国で行うことは、プロジェクトの実行上やむを得ないものである。日本側としては、その取扱いには十分注意することとしたい。

(4) 無線機について

(バ国側)

プロジェクト・サイトとなる Capiibary には電話がなく、また、最寄集落の Mbutuy の電話も夜間7時以降は使用できなくなるので、無線機についてはハンディ・トーカーだけでなく、Asuncion とプロジェクト・サイトを結ぶ無線機を持って来た方がよい。

(日本側)

緊急時のこともあり、日本にもち帰り検討したい。

(5) 署名者の権限について

(バ国側)

S/W の内容にはバ国署名者の権限を越えるものも入っているが、「The general framework of technical cooperation between Japan and Paraguay」に従って署名を行う。

(日本側)

了解する。

(6) 大統領府企画庁技術協力部の参画について

(バ国側)

大統領府企画庁技術協力部として、今後このプロジェクトを進めにあたって、いろんな打合せ等に参加させていただき、協力したい。については S/W にも署名したいと考えている。技術協力部が加われば、このプロジェクトもよりよいものになると考える。

(日本側)

日本側としても技術協力の担当である大統領府企画庁が参画していただけることは歓迎する。

その他、メモランダムにおいては、調査結果をバ国が活用するためにはスペイン語の報告書が作成されることが望しいと考えられるので、日本側が予算の範囲内で協力する旨を表明することとした。

以上の協議を行ったのち S/W を 7 部 (農牧省総務、農牧省技術官房、大統領府企画庁、日本大使館、JICA アスンシオン支部、協議団) 作成することとして署名を行った。

11. ミシオネス州ガラベ入植地林業経営状況メモ

6月23日

アスンシオン野菜組合長 長岡氏聞き書き

ガラベ入植地

3000 ha に 68 家族が入植したが現在残っているのは 16 家族

植林、お茶、ミカンの入植地で、数年前までは、極めて、厳しい入植地だったが、今はすべてうまくいっている。

20~23年生の造林地ができています。

8~12,3年生でパルプ材にうれる。1年おきに間伐する。

パルプ会社は、3500 円/ton で購入するので、4人で2車 (=10t) 出せば、7万円の収入となる。

樹種については、米松はパラナ松に劣る。

パルプ材としては、同じ値段であるが、20年生になると価値から見ると3倍の違いが出て

来る。材積でも30%違う。

パラナ松は12~13年生から伸び出す。

価値は、20~23年生のパラナ松で1本1万円 400本/haで400万円/haとなる。

融資は、事業団融資もあり、これがペソ建てだったので今は、タダに近くなっている。

アルゼンチン、ミシオネス州のパルプ工場三社あり

100 ~ 150 L/日……丸紅、本州製紙

700 L/日及び300 L/日

需給関係は、間伐材の方が多くて処理できないくらいである。

パルプ会社の経営状況は良好

生産者とパルプ工場の代金受け渡し、

半金を納入時残金は1か月~150日の手形で、結果的に生産者が損するしくみになっている。

是非ミシオネス州を見ることが、及びパラナ松を検討することをおすすめする。

会うべき人は、ヤマダさん(兄弟)(弟さんはDr、製材・輸出をやっている)

ヤマダさん Ing、市場、組合等いろいろやっている人

菊地さん

なお、長岡さんの連絡先は下のとおり

COOP. ASUNCENA DE HORTICULTORES LTDA.

C. A. N. G.

IMPORTACION - EXPORTACION

YOSHIKI NAGAOKA

Presidente

Ofic.: Alcal. López y 2^a - Teléf. 500420

Domíc.: Ité. Farfán 2435 - Teléf. 261759

Edo. de la Mora - Paraguay

〔付〕ミシオネス造林地調査について

この調査については、①調査団が「バ」国入国後VISAをとること、(大使館又は領事館の理解を得て)②アルゼンチン農試(INTA)のエルドラド支所の林業部門に直接コンタクトをとること、③セルロースアルヘンチナ(一番大きい植林・製材・パルプ会社)④及び長岡氏の言う、ガラベ入植地の日系人をたずねることによって、相当程度明らかになると考えられる。

VI 本件開発調査に関する提言事項

1. 調査すべき内容について

基本的な調査の枠組みについては、事前調査団の調査方針につけ加える事項はほとんどない。

今回の調査は F/S 調査であることから、当然のことではあるが、造林樹種、作業仕組み等について、調査の目的を実現するために、巾広い選択肢の中から柔軟な思考方法をとって、最適な計画を作成することを期待するものである。

2. 調査実施にあたって

- (1) 空中写真撮影の時期を逃さないよう早目に準備を進めるように努められたい。
- (2) また空撮にもとづき農地との境界確定を行なう必要がある。この結果は、農牧省への土地の移管にも影響する可能性があるため、空撮成果については、S/W の規定にかかわらず、早期に「バ」側に引き渡すことが望ましい。
- (3) 農地との境界確定には 2 つの内容がある。

ひとつは、BNF から、農牧省への土地の移管のための境界確定であり、この面積 27,000 ha については、測量成果がある。

もうひとつは、この 27,000 ha のうち FINAP が、農民に販売したとされる 2,000 ha については、境界図簿がない。この作成については、調査団として「バ」側に対して、何等の約束をしていない。

しかし、農牧省から林野庁への土地の移管にあたっては、是非とも必要である。従って、この測量については、農牧省-林野庁が実施することに対して、実質的な協力を行なう必要がある。

なお、この他国道との北部境界線付近に農民による土地への入り込みがみられる。その他、空撮成果によっては、さらに発見される可能性もあるが、大規模なものとは考えられないので、空中写真による現地射針として処理し、森林造成計画対象面積を確定すべきである。

- (4) 既存のエリオッティ松造林地の取扱いについて

200 ha の 11 年生造林地が、東側境界線上に細長く存在する。この林分は、早急に間伐を行なう必要があると見られるので、間伐材の販売、間伐方法を含めより現実的な計画を作成する必要がある。

- (5) 造林樹種を選択及び天然更新

計画の内容については、日本側に一任されており、自由に計画してよい。ただし、在来樹種の造林については、造林結果を十分見極めて、実施されるべきである。天然更新についても確立された技術がないので、試験調査の設計に留めるべきであろう。

(6) アグロフォレストリー及び木炭生産について

一定の見通しがあるので、その効果的な実施を組み込むことが必要である。

(7) 社会経済分析、市場調査、資金計画等に関し、本件調査は、地域社会の雇用量の増大、農民の生活向上に資することを目的のひとつとしている。

また、融資機関の経済専門家の審査に耐え得る内容とする必要があることから、農業経済、林業経済、地域経済分析、財務分析等に強い専門家の参加を希望したい。

(8) 第3国調査(アルゼンチン)について

紙パルプ工場への納入コスト、価格の見込み、造林作業基準、樹種選定、収獲表の調整のためにアルゼンチン・ミジオネス州の造林地等の調査は欠かせない。

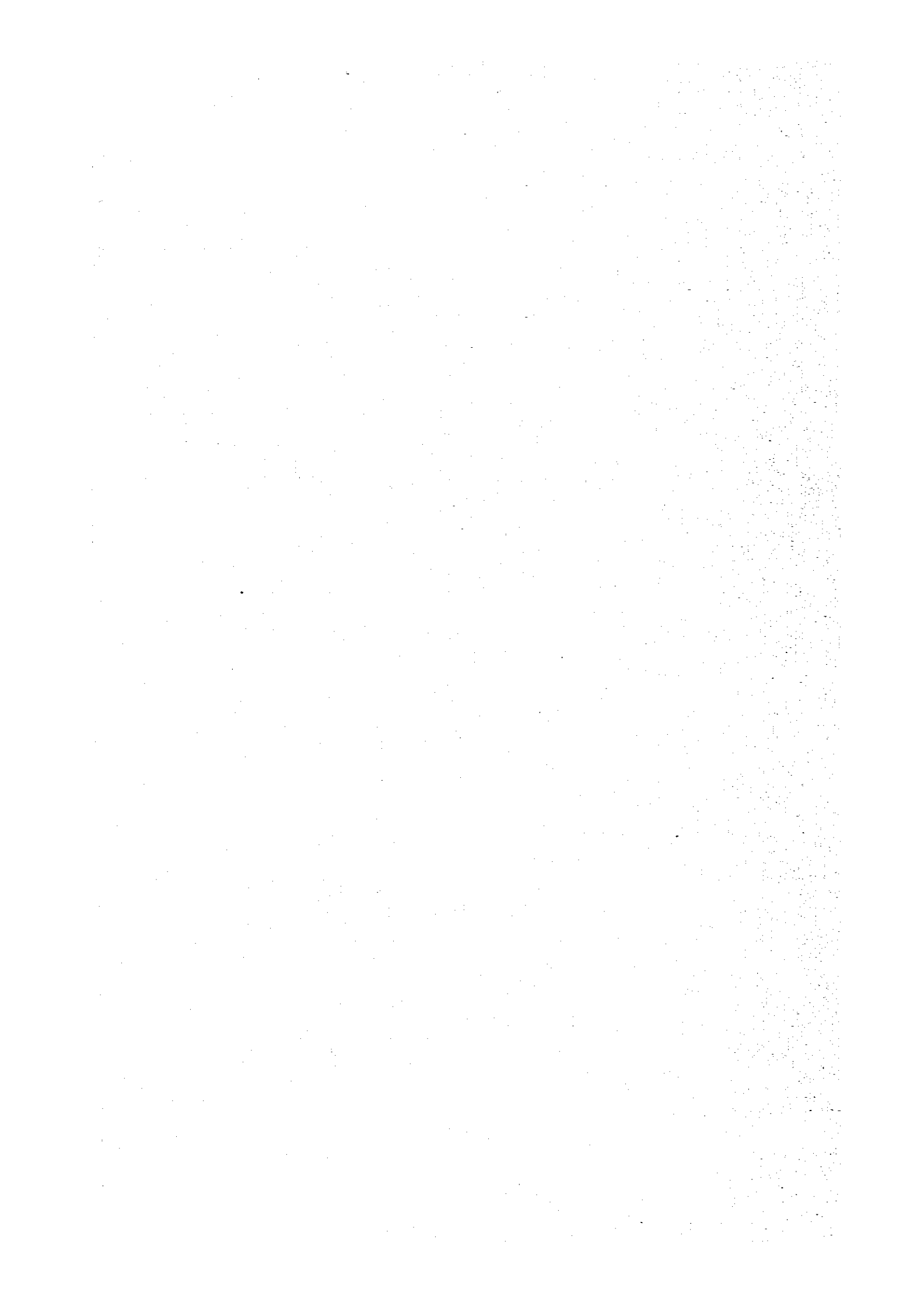
入国についての現地でのVISAの取得には特に問題がないこと、調査対象としては、アルゼンチン農試(エルドラド)の協力、及びガラベ入植地の移住者の協力が得られる見込みであり、是非実現するように希望する。

(9) 成果品等についての報告書の西語版の作成について

「バ」割から及び現地大使館、JICA支部、農牧省平田専門家から強く要請されたが、この実現方を強く希望する。

なお、翻訳については、現地アスンシオン在住の日系人の学者グループに依頼することが可能である。料金は、^{英→西} _{日→西} いずれも1300~1500B/枚程度である。

姓	名	職	部
山本	隆夫	技師	林業





MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

MINUTES OF THE MEETING ON THE SCOPE OF WORK
FOR THE FEASIBILITY STUDY ON THE AFFORESTATION
PROJECT IN CAPIIBARY, DEPARTMENT OF SAN PEDRO,
REPUBLIC OF PARAGUAY

The Director of the Technical Cabinet and the Director of the National Forest Service, Ministry of Agriculture and Livestock, the Republic of Paraguay, and the Head of the Japanese Team on the Scope of Work dispatched by the Japan International Cooperation Agency, exchanged their views on technical cooperation for the Feasibility Study on Afforestation Project in Capiibary, Department of San Pedro, Republic of Paraguay, and agreed on the Scope of Work attached hereto.

Asuncion, June 23, 1983

1. Scope of Work
2. List of the Attendants

Ing. Agr. Susumu SUZUKI
Head, Japanese Team on Scope of
Work for the Feasibility Study
on the afforestation Project,
in Capiibary,
Japan International Cooperation
Agency

Ing. Agr. Oscar ROJAS
Director, Technical Cabinet,
Ministry of Agriculture and
Livestock, Republic of Paraguay

Dr. Juan E. AGUIRRE (h)
Coordinator, National
Technical Assistance
Coordinating Committee

Ing. Agr. Pedro CALABRESE
Director,
National Forest Service,
Ministry of Agriculture and Livestock,
Republic of Paraguay



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUNETENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

SCOPE OF WORK FOR THE FEASIBILITY STUDY ON THE
AFFORESTATION PROJECT IN CAPIIBARY, DEPARTMENT
OF SAN PEDRO, REPUBLIC OF PARAGUAY

I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of the Republic of Paraguay, the Government of Japan has decided to conduct the feasibility study on the Afforestation Project in Capiibary, Republic of Paraguay (hereinafter referred to as "the Study"), within the general framework of technical cooperation between Japan and Paraguay which is set forth in the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Paraguay. Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of technical cooperation programs of the Government of Japan, will undertake the Study in close cooperation with authorities concerned of the Republic of Paraguay.

The present document sets forth the scope of work for the Study.

II. OBJECTIVE OF THE STUDY

The objective of the Study is to formulate a forest management plan on the Study area for the development of highly productive forestry and rural communities.

III. OUTLINE OF THE STUDY

1. Study area

The Study will cover an area of approximately 25,000 ha in Capiibary, Department of San Pedro, Republic of Paraguay, as shown in Appendix I.



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y CANAERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

2. Scope of the Study

The activities to be undertaken by the Study teams will be divided into field works in Faraguay and home office works in Japan.

(1) Field works

The field works will cover the following items.

In the first year

- 1) Aerialphotographing at a scale of 1/20,000, and establishment of map control points
- 2) Demarcation of the Study area
- 3) Collection of data on the following items:
 - a. Natural conditions
 - b. Socio-economic conditions
 - c. Forest industries, including market conditions
 - d. Forestry
 - e. Agro-forestry
- 4) Execution of field investigation and surveys on the following items:
 - a. Forest resources
 - b. Forest soil
 - c. Man-made forest
 - d. Natural regeneration
 - e. Forestry facilities

In the second year

- 5) Preparation of preliminary design and planning on the following items:
 - a. Forestry facilities
 - b. Forest roads



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUNETENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

- c. Nurseries
- d. Afforestation
- e. Forest protection
- f. Harvesting and logging
- g. Charcoal industries
- h. Agro-forestry
- i. Research method of natural regeneration

6) Consultation on forest management plan through joint meetings with the authorities concerned of the Republic of Paraguay

(2) Home office works

Eased on the results of the field works, home office works in Japan will be carried out on the following items.

In the first year

- 1) Drafting of enlarged maps at a scale of 1/20,000 with 5 meter contours for the Study area, using the existing maps at a scale of 1/50,000
- 2) Assessment of the demarcated land and forest
- 3) Analysis of the collected data

In the second year

- 4) Formulation of the forest management plan
- 5) Appraisal
 - a. Financial analysis
 - b. Economic analysis
 - c. Development impact expected

IV. STUDY SCHEDULE

The Study will be conducted for approximately two (2) years in accordance with the tentative study schedule, as shown in Appendix II.



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

V. REPORTS

The following reports in English and data will be prepared and submitted to the Government of the Republic of Paraguay.

1. Report on the assessment of the Study area and interim report (15 copies, each); at the beginning of the field works in the second year.
2. Draft final report (15 copies); within nine (9) months after the beginning of the field works in the second year.
3. Final report (30 copies); within one (1) month after receiving the comments of the authorities concerned of the Republic of Paraguay on the draft final report.
4. The following data (1 set, each); at the same time of the submission of the draft final report.
 - a. aerial photographs
 - (a) negative films
 - (b) contact prints
 - (c) index maps
 - b. forest type maps
 - c. soil maps
 - d. forest productivity maps
 - e. forest inventory register
 - f. harvesting and afforestation register

VI. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PARAGUAY

The Government of Paraguay shall accord privileges, immunities and other benefits to the Japanese study teams.

1. To facilitate smooth conduct of the Study, the Government of the Republic of Paraguay will take necessary measures as follows:



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

- (1) to secure the safety of the Japanese study teams
- (2) to permit the members of the Japanese study teams to enter, leave and sojourn in the Republic of Paraguay for the duration of their assignment therein, and exempt them from alien registration requirements and consular fees
- (3) to exempt the members of the Japanese study teams from taxes, duties, fees and other charges on equipment, machinery and other materials brought into the Republic of Paraguay in order to conduct the Study
- (4) to exempt the members of the Japanese study teams from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Japanese study teams for their services for the implementation of the Study
- (5) to provide the necessary facilities to the Japanese study teams for the remittances as well as utilization of funds introduced into the Republic of Paraguay from Japan for the implementation of the Study
- (6) to issue or acquire permissions for the members of the Japanese study teams to enter private properties or restricted areas for the implementation of the Study
- (7) to issue or acquire permission for the members of the Japanese study teams to fell trees to measure increment of forests
- (8) to issue permits to take all data and documents related to the Study including photographs out of the Republic of Paraguay to Japan and negative films for development to the neighbouring country by the Japanese study teams
- (9) to issue permits on the use of radio communication equipment whenever necessary
- (10) to define the Study area with stakes before the beginning of the field works



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

2. The Government of the Republic of Paraguay shall bear claims, if any arises, against the members of the Japanese study teams resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arises from gross negligence or wilful misconduct on the part of the members of the Japanese study teams.
3. National Forest Service shall act as a counterpart agency to the Japanese study teams and also as a coordinating body with other governmental and non-governmental organizations concerned within the Republic of Paraguay for the smooth implementation of the Study.
4. National Forest Service shall, at its own expenses, provide the Japanese study teams with the following, in cooperation with other agencies concerned, if necessary:
 - (1) available data and information related to the Study
 - (2) counterpart personnel
 - (3) suitable office with necessary equipment in Asuncion and Capilbary
 - (4) identification cards
 - (5) interpreters, typists and labour necessary for the implementation of the Study
 - (6) facilities to carry out soil analyses of the samples taken from the study area
 - (7) vehicles with drivers necessary to conduct the Study
 - (8) medical facilities (expenses may be borne by the Japanese study teams)



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

VII. UNDERTAKING OF THE GOVERNMENT OF JAPAN

For the implementation of the Study, the Government of Japan will, in accordance with the relevant laws and regulation in force in Japan, through JICA, take necessary measures:

1. to dispatch, at its own expenses, study teams to the Republic of Paraguay
2. to transfer technology to the Paraguayan counterpart personnel in the course of the Study
3. to provide the equipment and machinery for the implementation of the Study, which will remain the property of the Government of Japan unless otherwise agreed.



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUENTENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

J A P A N E S E S I D E

Ing. Agr. Susumu SUZUKI
(Team Leader)

Chief Instruction Officer,
Forestry Training Institute,
Forestry Agency

Ing. Agr. Yoshihiko WATANABE
(Forest Management)

Senior Forest Planning Officer,
Planning Division,
Private Forest Department,
Forestry Agency

Ing. Agr. Seiichi HISHIMA
(Coordinator)

Deputy Director, Forestry Development
Division, Forestry and Fisheries
Development Cooperation Department,
Japan International Cooperation Agency

Ing. Agr. Toshiro SATO

Leader of the CEDEFO PROJECT

Ing. Agr. Takehiko MAEDA

Chief, Technical Cooperation Section
Japan International Cooperation Agency,
Office in Paraguay

P A R A G U A Y S I D E

Ing. Agr. Oscar MEZA ROJAS

Director, Technical Cabinet, Ministry
of Agriculture and Livestock

Ing. Agr. Pedro F. CALABRESE

Director, National Forest Service,
Ministry of Agriculture and Livestock

Dr. Juan E. AGUIRRE (h)

Coordinator, National Technical
Assistance Coordinating Committee,
Operational Unit

Ing. Agr. Shiro HIRATA

Planning Adviser, Technical
Cooperation of the Government of Japan
Ministry of Agriculture and Livestock

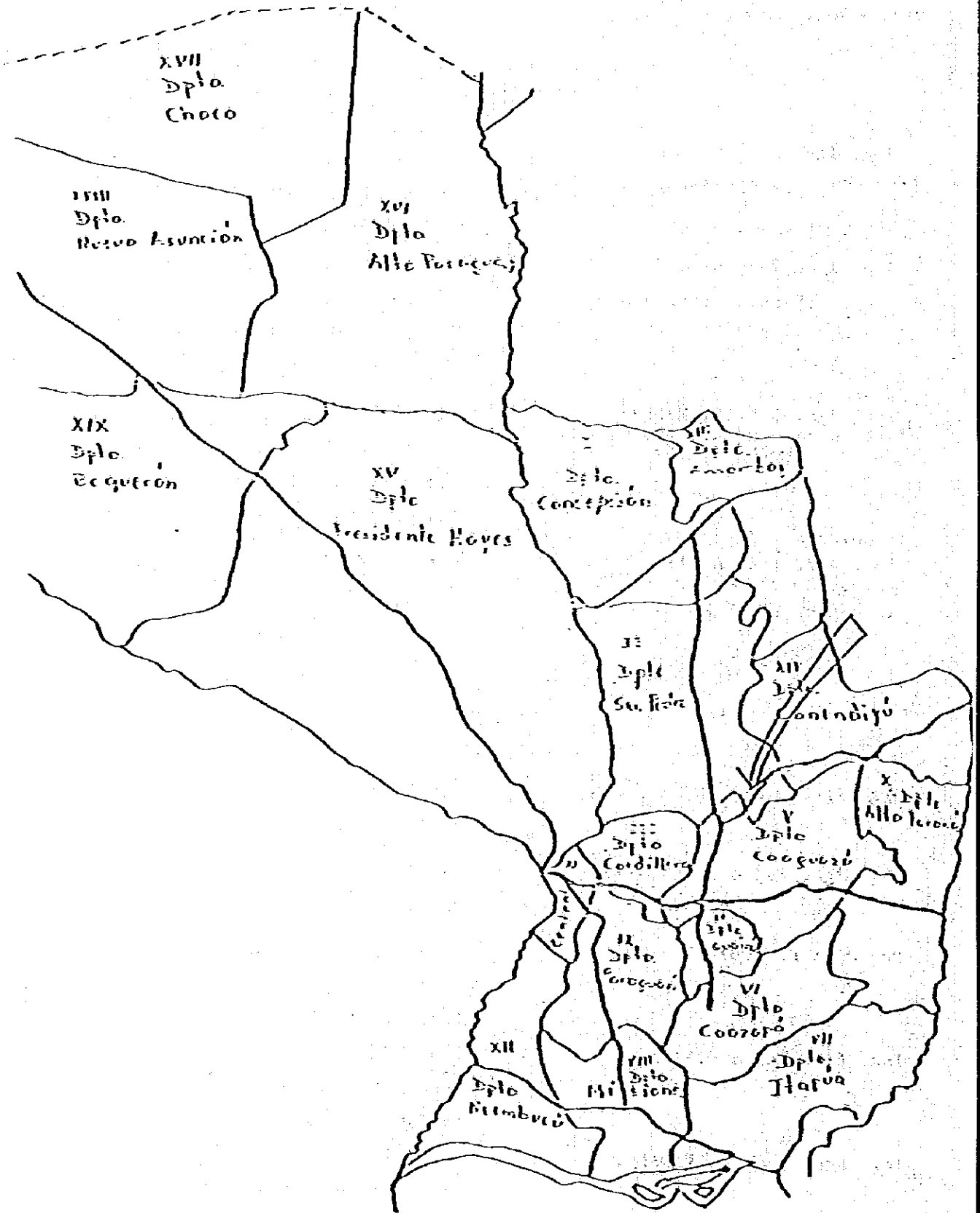
Ing. Agr. Rogelio VIDAL

Chief, Department of Industry and
Development, National Forest Service

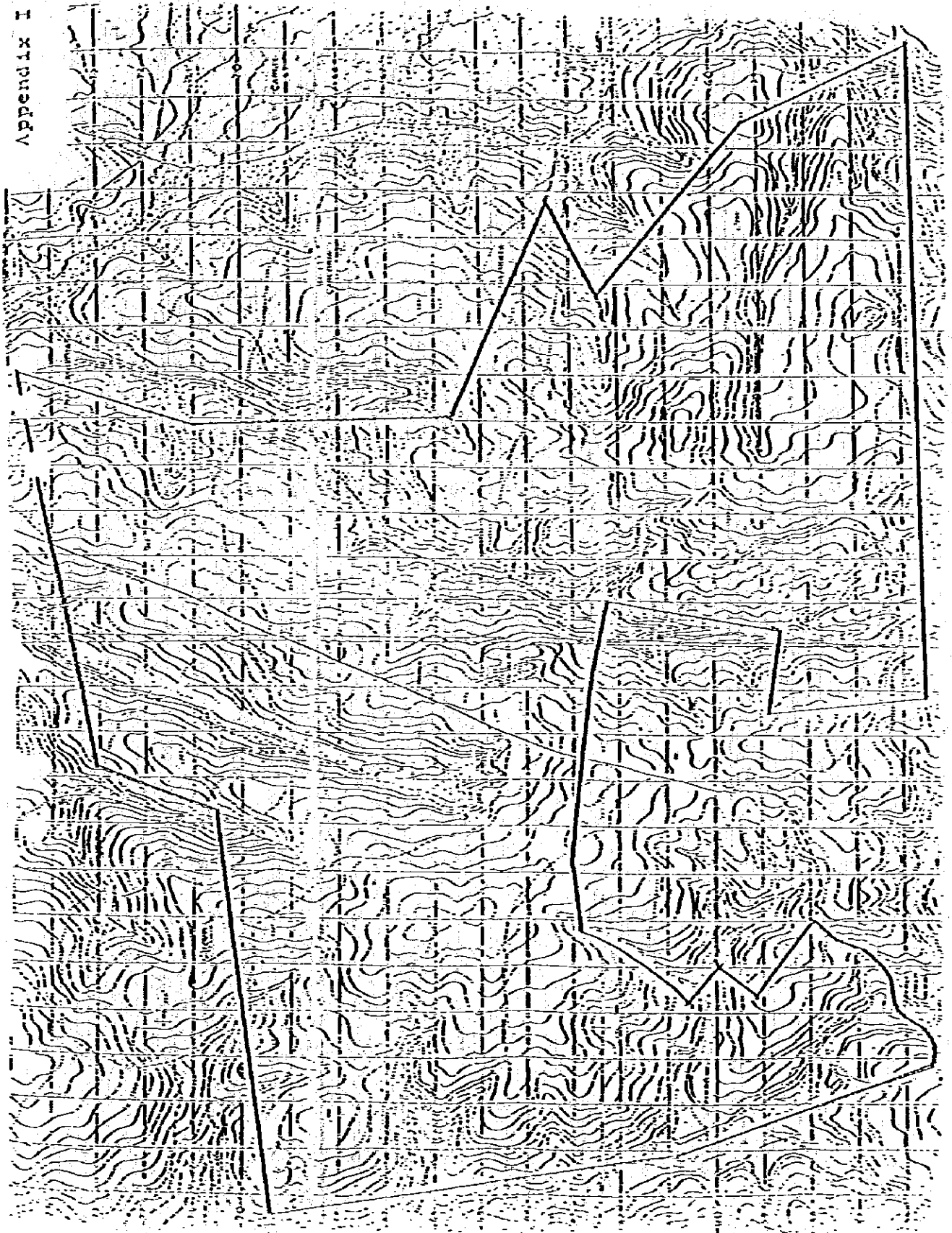
Ing. Agr. Gregorio RAIDAN

Chief, Agriculture and Forestry Sector
Programmer, STP

CAPILBARY PROJECT SITE

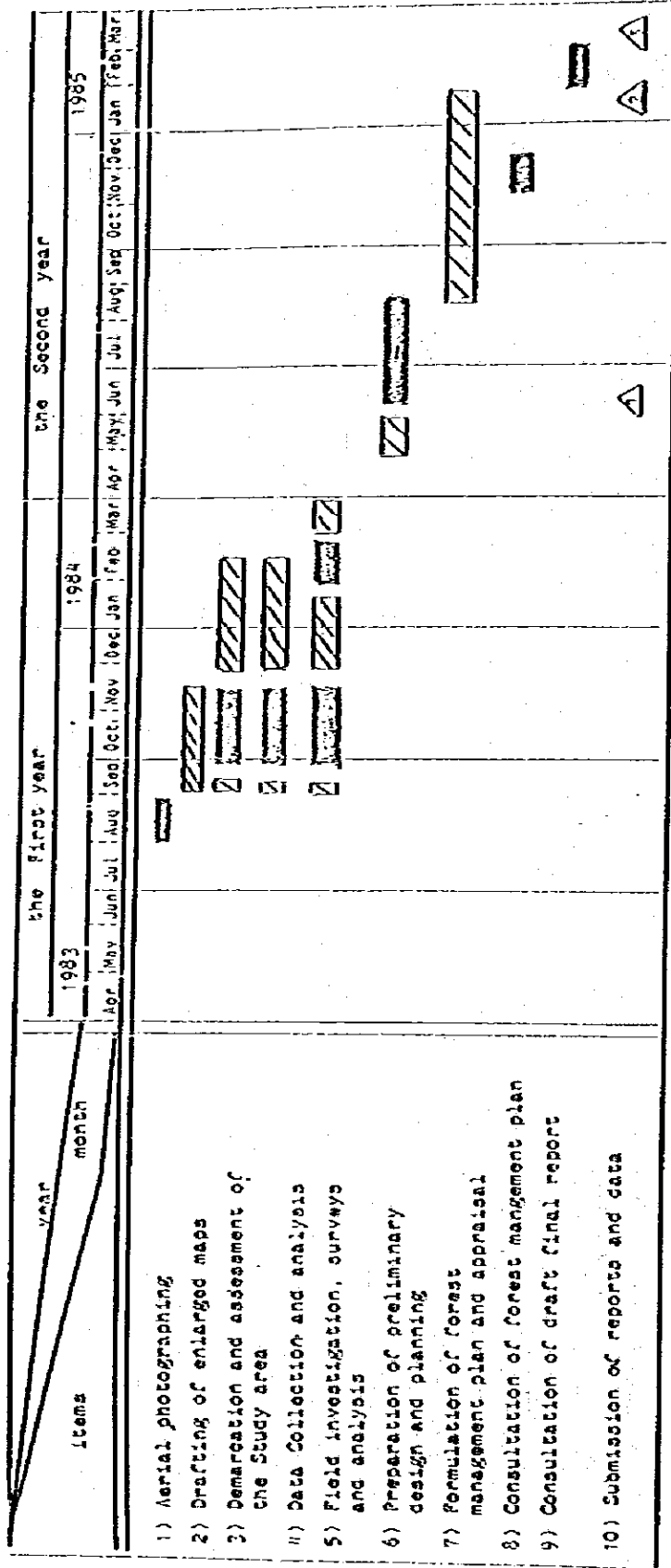


Appendix I



TENTATIVE STUDY SCHEDULE

Appendix II



Field works in Paraguay
 Home office works in Japan
 Submission of the report on the assessment of the Study area and interim report
 Submission of the draft final reports and data
 Submission of the final report



MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
CINCUNETENARIO DE LA DEFENSA DEL CHACO

MEMORANDUM

The staff of the Ministry of Agriculture and Livestock of the Government of Paraguay and Japanese Scope of Work team held meeting on June 23 to discuss the details of SCOPE OF WORKS for the Feasibility Study on the afforestation Project in Capibary, Department of San Pedro, Republic of Paraguay.

Through the discussions, both the Paraguayan side and the Japanese team confirmed the importance of the following elements and recognized the necessity to make efforts to realize them:

1. The Final Report mentioned in Item V - 3 should be translated into Spanish by Paraguayan side in close cooperation with Japanese side.
2. Undertakings mentioned in Item VI - 4 should be carried out by the Government of Paraguay. However, in case the Government of Paraguay encounters difficulties to provide these undertakings due to budgetary limitations or some other reasonable causes, the Government of Japan may take appropriate measures such as the provision of vehicles, office equipments and materials, interpreters and laborers.

Asunción, June 23, 1983

Ing. Agr. Susumu SUZUKI
Head, Japanese Team on Scope of
Work for the Feasibility Study
on the afforestation Project,
in Capibary,
Japan International Cooperation
Agency

Ing. Agr. Oscar MEZA ROJAS
Director, Technical Cabinet
Ministry of Agriculture and
Livestock, Republic of Paraguay

Dr. Juan E. AGUIRRE (h)
Coordinator, National
Technical Assistance
Coordinating Committee

Ing. Agr. Pedro CALABRESE
Director,
National Forest Service,
Ministry of Agriculture and Livestock
Republic of Paraguay

付属資料Ⅱ

借 款 申 請 書 の 手 引

米州開発銀行計画分析部

(注：調査中にアスシオン在住の学者グループに依頼し、分担して、
1日で翻訳したものである。訳語が十分練れていない部分もあり
得るので、使用上はこの点に留意願いたい。)

B I D に提出する借款申請書作成の手引

目 次

I. は し が き	98
II. 銀行の取引形式	99
III. 投資計画の各段階	100
IV. 選ばれ得る計画	101
第一章 計画の概要	103
第二章 計画の関係範囲	104
第三章 借金人及び実行者、その他の参加機関	106
第四章 計画の費用とその融資	108
第五章 計画実施	113
第六章 財政への影響	115
第七章 社会・経済面の評価	117

は し が き

本手引書はB I D加盟国の借款を希望する機関に対し申請書に記すべき事項につき指導するために作成されたものであり、その内容については各計画の特性に適合させなければならない。

この手引の第一章から七章までには申請書に記入すべき事項の構成と提示の方法につき示され、銀行が計画を分析するに当り必要とする情報の体系的なしるべとなる。

計画により、記入情報は全面的に適用できないことも有り、時には、ここに示されているもの以外の追加情報が必要になることも有る。

銀行は申請書受領後、その内容分析と評価を行なうに当り、必要とする情報の提供を請求することができる。この手引の内容、又は借款申請書の作成及び提出に関し、不明瞭な点が有れば各国におかれている代理者が説明に務めることになっている。

II 銀行の取引形式

銀行は次の方法により資金の貸付を行なう。

1. 特定のプロジェクトに対する貸付

これは銀行が貸付を認める時点において完全に決定している一つの、又は多数の特定のプロジェクトやサブプロジェクトに対してあたえられる融資である。

この特定のプロジェクトやサブプロジェクトは物的又は技術的な個々の特性により決定すべきであり、それらの本質や個々の独立した要素の合理性を変化させることなくしては分割できないものである。

一つのプロジェクト又はサブプロジェクトが完全に決定しているとは、それらの費用や予備計画の他、技術、財政、経済、社会面等で実現性が貸付前の検討により評価されている状態をさす。

2. 複合事業計画に対する一括的な貸付

これは、お互いに独立しているが相似の計画一体に対する貸付であり、全体の実現性はその内のいくつかの事業の実施とは無関係である。

計画の規模は実施に当る機関の実行力及び個々の事業の実施期間、準備資力やその他の特定要素に関連しない要因によるものである。

この特定の要素はお互いに独立しているので、その内のいくつかの要素の除去、又は無期的に延滞させることが考えられるならば一括した複合計画も分割させる事ができる。

3. 勸業機関に対する一括的な貸付

銀行側が融資の規模が直接取引するほどは大きくないサブプロジェクトと考えた場合は一旦勸業機関や営業所に貸付け、其の後にこれらの機関はサブプロジェクトに対し、又貸を行なう。

全ての貸付の実施は銀行と借金者との間で取り交わされる規定に従い行なわれる。

これにより実施の基準や受益者の該当資格、又貸しの条件や融資の対象分野、又は融資利用の制限等を定める。

4. 混合形式の取引

プロジェクトの特質により前述の形式を組合せて行なう方法である。

III 投資計画の各段階

投資計画の各段階は次の通りである。

1. プロジェクトの選定

現実の問題や必要性に対する解決として一つあるいは多数のプロジェクトが選択される。

2. 可能性の事前調査

実現する可能性の少ないものを除外するため、先ず各選択計画の分野並びに経済、財政等に関する長期的調査を行ないその内の深く検討する。

価値の有る計画の範囲、費用、予備計画等を定める。

3. 実現性の調査

一番魅力の有る計画を選定してその実現性を定めるため、技術面、財政、関係機関、法律、経済、社会や其の他の重要な要因を深く調査する。

4. 実施のための準備、編成

最終計画の見積り、実行の企画、予算、編成、資金の調達、コンサルタントの選定、請負業者の予備選定等を含む実行準備作業を行なう。

5. 実施

計画の実行、計画が動き始め予定の利益を生み出し始めるまでの仕上げも含む。

6. 事業の開始と運営

プロジェクトが動き始めた後の短期間とそれに続く計画の目的達成までの長期にわたる運営。

7. 影響の評価

プロジェクトは運営開始後再検討され、予定通り運営され、予定通りの益が生じているかを計り、当初の目的達成のための働き度合いを評価される。

8. B. I. D. の参加

大小の差は有れども銀行は前述の段階の総てに関与するが、一番関係が深いのは実現性の調査からプロジェクト実施終了段階までである。

銀行が考慮に入れるのは一般的に実現性の調査であり、その検討は予定される投資に対する技術面、財政、機関、法律、経済等多様の可能性の評価に基づく。

IV 選ばれ得る計画

1. 全体的な特質

考慮されるため銀行に提出される林業計画には以下の通りの必要条件が有る。

- (1) 国の開発計画の方針と具体的に合致すること。
- (2) 実施に当り、環境を破壊することなく、整然とした森林資源の利用を保証すること。
- (3) 財政、経済の収益面で満足のいくこと。
- (4) 全体計画の一部となり得る適した研究計画並びに要因の養成、訓練計画の支援を受けること。
- (5) 計画は投資額及びその地域の経済、社会の特質に合った就業の機会を作らなければいけない。
- (6) 提案される生産に関しては最も適した土地の利用法及び更新可能な資源の保全を考慮しなければならない。
- (7) 計画が生み出す生産物の適した販売方法を考慮しなければならない。
- (8) 自然林又は造植林の保護とそれらの適した利用のため、必要な場合はインフラ事業により補足する。

2. 銀行の融資の対象となり得る

プロジェクトは適した機関の支援を必要とし、適した森林法も必要とする。これらの強化及び改善がプロジェクトの目的に含まれていない場合は前述の基本的な要因を必要とする。

- (1) 既存の自然林の合理的な開発利用、最も良い各種木材の加工に方向づけると共に既存資源の保全と生を因る。
- (2) 既存の、又は計画されている工場に原料を提供するため、林業に適した土地に新たな造林を行なう。

選ぶ樹木の種類は新設の土地の環境に合ったものか又は試験により、その他に適していると実証済みの種類でなければいけない。

- (3) 自然林及び造成林を全体的に、そして最高度に利用するための工場の設置。

融資の対象となり得る工場としてパルプ、製紙工場及び建築用材料の製材所やベニヤ板、各種合板の製造工場があげられる。他にも樹脂の精製や木材以外の森林生産物の工場も融資の対象となり得る。

資源を最大限に利用し、満足のいく経済的な結果を出す事を奨励する意味で総合的な事業を優先とする。この事により色々な業種の工場が組み、それぞれが違う種類の木材や年齢の違う木材を使用したりして自然林、造成林を問わず管理が合理的に行なわれることになる。

加工部門においては、各種生産品の保存と販売の面で改善を行なうため選別並びに処理、

乾燥等を行ない工場設備を含めなくてはいけない。

- (4) 自然林又は造成林の伐採作業と原木の運搬に必要な器機類、トラクター、自動車や其の他原木の取扱い及び工場までの運搬に要する設備。
- (5) 森林地域内のアクセス道路、特に工場までの原木の運搬並びに工場から消費地までの運搬に使用される道路系統。
- (6) 自然林の再生又は多くの目的を持つ森林の造成、特に土地の侵食防止や農業用地の保全を目的とするもの、河川の流域やダム、水路を土砂の流れ込みから保護したり、水源地や河川の流量の調整に役立つもの。

この他、この部門には野生の動植物を保護したり観光等で役立つ国立公園の保全も含まれている。

最後に、この多重目的の計画に含まれるものとしては、環境を破壊する無差別な伐採を行わず、林業と農牧業との調和を図り、地力に合った適した土地の利用を行ないながら森林を利用したり、造成したりする入植計画があげられる。

- (7) 資源を守り林業の振興を進める政府機関の強化。

この部門においては、次の業務が含まれている。

3. 自然林の保護、管理と利用に関する現存の問題に対する解決法となり得る研究

一番適している木の種類の選定とその栽培方法の開発、造成林の管理とその利用及び材木の処理加工と利用方法に務める。

林業振興計画に含まれている研究や、植林、森林管理、加工等の実績に必要とする大卒、中等及び職業訓練所卒各レベルの技術者の養成。

見回りによる防止や消火方法による山火事対策。

病、虫害対策。

自然林の無差別な伐採を見回りにより防止して自然資源を破壊から守る手段。

自然資源のより良い管理方法や優良な種類の導入、最新の植林技術等を伝える業務。

森林地の地籍調査。

国際市場への輸出の多様化を図り、同地域の国々に加工工場を設置し、地域間の取引に役立たせる位、多国籍の企業を設けるための市場調査を行なう。

注意 もしプロジェクトに個人企業に対する又貸しが含まれている場合、この手引は“農業の一括融資”により補足されるが、これは各国におけるB I Dの代理事務所より入手できる。

第一章 計画の概要

この章の目的は本書を使う人に一覽で計画全体の重要な基本情報を要約して伝えることにある。

今まで各章において詳しく伝えて来た情報のまとめとなるものであるのでこの章は一番最後にあたる。

この計画概要には以下の情報が記入されている。

借金機関と実行機関

誰が融資を受け、どの機関が計画を実施するのか。

計画の特質と目的

計画の特質と目的をかんたんに述べ、実行される主要事業の関係についても述べられる他、政府機関が定める優先順位を示す。

計画実施地域

プロジェクトが実施される場所を示す。

受益者

利益を受ける団体はどれかを示す。

プロジェクトの費用の総額と融資の申請額

計画費用額、申請する額、資金の現地調達分とその資金源、外貨の必要額。

申請する融資の条件

融資の条件に関する情報（期限、利息、すえ置期間等）。

計画の実施

計画の準備の具合と実施に予定している期間。

技術協力の必要性

計画の特定部門を強化する意味で技術協力の必要性が生じる。この点については目的と必要額も記入する。

第二章 計画の関係範囲

目 的

この章の目的は、林業開発部門の問題点を定め、関連性を見付け解決法を見付けることにある。この章には、次の情報が含まれる。

一般の情報

- 1 国の経済のなかにおける農牧林業の重要性
- 2 最近五年間の次の事柄についての情報
 - I 林業関係の生産量と額に関する統計資料
 - II 林業生産物の輸出と輸入量の統計資料
- 3 計画実施地域における雇用関係、収入レベル及び人口の移動率
- 4 同地域におけるサービスの基本的なインフラ
(融資、研究、普及、教育、保健、他)
- 5 最近三年間の農村地域における公共事業の投資額とその特質
- 6 将来の林業開発計画とその目的

計画実施地域の特性

- 1 面 積
- 2 気 候 (降雨、気温、湿度)
- 3 土地と地形
- 4 水資源、排水

既存の林野資源

- 1 調査に基づいた全国及び関係地域内の林野の位置と面積
- 2 利用方法、間伐、伐採の順番と最終的な伐採
種類別の植付から前述の作業を行なうまで要する年数
林業生産物の生産量と需要
FAO、林業生産年報による名称
(原木、製材、合板、パルプ、紙、他)に関する次の情報
 - (1) 自然林及び造成林のそれぞれの生産量
 - (2) 見かけの消費量、需要の傾向

林業投資の奨励

- 1 減 税

2. 輸入製品の課税
3. 優先的な融資とその特質
最近五年間の貸付額
融資の資金源
4. その他

計画実施地域の社会状況

1. 農業の仕組（地域内の農家の規模と土地所有）
2. 全人口及び農村人口、人口移動
3. 就業及び失業
4. 地域内の農村人口の収入レベル
全国のレベルとの比較
5. 地域内の最低賃金
6. その他の社会指数（住居、保健、栄養、他）

社会インフラ及びサービス

1. 道路及び運搬用の施設
2. 電力及び上水道
3. 生産物の保存と販売
4. 使用できる公共施設

林業関係の法律

計画に関連した法律や規則をまとめて記述する。（計画実施に関係が有る法律等の写しを添える。）

同類の計画

実行済、又は実行中の似た計画が有れば説明する。それらの結果も説明。

国際融資

1. この分野におけるB I Dの貸付又は技術協力業務
2. その他の機関の実務の状態

第三章 借入金及び実行者、其の他の参加機関

目 的

本章は計画実施に当る諸機関について述べ、同機関の財政及び法的な状態を示す。
この章には次の情報が含まれる。

機 関 面

1. 借入金、実行及び保証機関として計画に参加する各機関について述べる。
2. 計画によりサービスを提供する及び民間の機関について
3. 実行に当る各機関について個々に説明
担当するサブプロジェクトを示し、それぞれの機関の次の情報を記述する。
設立に適用された法律、決議等。設立の日付、法的な権限、役目、資力源
その構成と働きについては
 - ・ 管理の仕組み（組織図を添える）
 - ・ 役員及び要職員の構成と選出
 - ・ 最高役員の権限と責任
 - ・ 全国に配置されている支所等の数と場所。特に計画に関係の有るもの
 - ・ 計画に関係が有る部門の基本的な役目
 - ・ 分権の度合
 - ・ 機関の再編成が行なわれる場合は示す

人員については

人員の募集、選出、昇格と解雇

人員の訓練、給与、他

要員の総人数

主要部門における配置

勤務年数、他

人員の内直接計画に関係するものを示し、専門分野別の表を作成する。

団体の主な役員履歴書を添える

計画実施に当り人員の増加が予定される場合は人数とタイプを示す。

4. 計画が直接必要とする機関の財につき述べる。受持つサブ・プロジェクトのタイプにより詳しく述べる必要が有るが一般には、土地、建物、農機具、研究施設、飼育センター等である。
5. 購入、入札契約等の方法に関するかんたんな説明
6. 経理、査問の仕組み

財 政 面

実施に当る各機関の次の情報を必要とする。

1 政府機関

関係する省及び部門の最近三年間の収支計算

その間の変化の理由に関しては、コメントを付ける。

融 資 面

1 自治団体

過去3年間の年間経済状態、結果又は損益、資金の出所とその適用を提出する。これらは帳簿内訳を添えてこななければならない。

2 銀 行

銀行の場合、なるべく早く資金状態と貸し付け金回収について下記の明細を含めて報告すること。

- ・ 延滞の明細とその期間別分類。
- ・ 延滞理由とこれを少なくする対策。
- ・ 貸し付けのための貯えと、又は回収不確な貸し付け金が有るか。

金額は、当国貨幣とこれをU.S.Aドルに換算した金額であること。

尚、換算方法を記入すること。

- ・ 銀行の農業部門 — 融資総額に問い合わせること。

第四章 計画の費用とその融資

目的

この章の目的は、銀行が地方又は国全体の林業発展のためのプロジェクトの色々な構成、費用と重要性をはっきり理解するために必要な資料を与えることである。

提供された資料は、技術、融資、施設、法律、経済面の検討ができる様不足がなく詳細でなければならない。プロジェクトが技術的に完全と認められるのは、提供した資料が技術面を考慮した他に資金、会計が定規と通常使われている技術内にあることと、プロジェクト費用見つもりが他のどんな方法よりも良く予想した結果が出る場合である。

この章に該当した書類は、一番都合のよいかたちで提出してよい。叙事文、図か又は表、この章には次のことを含めなければならない。

プロジェクトエリアー

1 地形と境界線

2 次のような選択に使われた規準

- ・ 生態特徴と選択された種類との関係
- ・ 農業又は牧畜にくらべ、良い土の使い方
- ・ 施設の配置、特に生産物の運送と加工を便利にする道と電力
- ・ 次のような保存管理

風化された土地の回復、水路脇の保護

ダムの管の沈降予防とその副産物^①

① (存在しているか又は作る工場の収容力を詳細する)

プロジェクトのねらいと目的

- 1 プロジェクトの規準目的を表示する。自然林を利用するか又は植林ヘクタール数と、生産量。
- 2 他の補足目的を記入する。輸出の増加又は輸入の減少によって得た外貨、就業、最も良い土地の利用、天然資源の保存、ダムの保護など。

プロジェクトの記述

プロジェクトの特徴を表示する。例えば、合理的な森林の利用又は植林融資によって新しい植林の設定する。その他に、基礎ができているか、施設支援と生産者に対して技術補助などを記入する。この最後の場合、これらのひとつひとつの活動又は投資の記述をしなければならない。特に資源調達色々な機関からくる場合。

プロジェクト記述にあつて次のことが報告基本となる。

- 1 得る材料の質と行先、その優先と生態条件への適応性をもとに種類の選択をする。^{**}
 - ^{**} 別紙に選択された各種類の生産費用と収益の明細を提出すること。
- 2 種類別、年別と面積の植林予定表。

3. プロジェクトによって植林される面積をうめるために、個人又は組合の苗木の拡張。
4. 次のことを表示した生産物利用プラン
 - a) 間切り時期と最後間切り又は場合によっては間切りをする順番
 - b) 生産物の量と行先
5. 設ける施設(道、電気、学校、病院とその他の施設)
6. 試験場と林業普及局の設立又は拡張
 - a) 設立又は拡張する試験場と森林調査面積又は種子の生産
 - b) 設立又は拡張する普及届の数と技術者の任命。植え付けから利用までの普及局の活動
7. 害虫と病気の予防普及
8. 火事予防
9. 人員の訓練と指導
10. 実行機関の拡大化(プロジェクト実行にあたって機関が必要な援助とその特徴)

融資の政策*

プロジェクトが植林融資を出す場合、融資を与えるにあたっての政策を記入すること。

特に次のような事柄を記入する。

1. 融資を与える目的
2. 類型別最高額と借用者別総額
3. 融資の特徴
 - a) 期間、その設定
 - b) 利息
 - c) 据え置き期間とその証明
 - d) 要求できる担保

4. 融資のコントロールと指導方法

プロジェクトに必要な事柄

この項目について次の事があげられる。

1. 融資の働き

苗作り、土地の準備、植付け、さく、移植管理、機械、機具とその他

2. 技術普及とその他のサービス

例えば衛生管理、火事、指導など、これについて必要な事柄を決める。

・ 人員：専門家、技術者、運営とサービスこれを十分に満足させる可能性が有るかどうか。

・ 車、機械、機具とその他

・ 融資貸し付けにあたっての規則を添えること。

・ 実行機関に対しての技術協力

実行機関が新たなサービス又は改善を望んだ場合、技術協力が必要になる。その時は、予算に計上する。

この費用は、貸し付けをする融資で取り扱うことができる。

3. このプロジェクトに予想されたその他の投資又は活動

原型農場

樹類融資の場合貸付は次の様に行なう。

1. プロジェクト資本から貸し付けをする農場になるべくちかい原型農場を構成する。農場選択に用いられて規則を記入する。この項目はプロジェクトを記述及び分析するのに重要である。
2. 原型農場の結果を分析する（資金の動きと収益表・図）
3. 効率プロジェクトに取り上げる農場の当初及び今後の状態を次の点に関する分析を加える必要がある。
 - ・ 原型農場を規準に現在有す資源利用、技術、予想生産量の増加、経済面の結果（収益／経費の比率）
4. 各原型農場の期間別のあらゆる投資と運営経費の予算表を含める。同様に発育期間中に生産されると思える収入及び予想経費の計画作成

適切な技術の起用

プロジェクトの色々な投資及び活動については、地域の社会経済を考慮してプロジェクトの目的に適切な中流技術又はそれ以下の技術の起用する。

受益者

同プロジェクトに依る受益者の確認、分類、評価及び各グループ受益者に依る植林平均面積又は各可能グループの総面積

1. 企業又は公衆機関
2. 民間生産者
 - ・ 個人：(1)現在の林業生産者
 - (2)農牧生産者
 - (3)農牧業に無関係な投資者
 - ・ 協同：(1)組合あるいはその総組織の特徴と個人生産者で示された大半会員レベル（75%あるいは以上）
 - (2)林業企業と同加工又はその他の補足企業（観光エトセトラ）

プロジェクトに依り得られる生産

プロジェクトの性質から観て色々な部門から得る生産量及び収益予定表の作成

1. 原木
2. 製品
3. 加工品(ベニヤ、コルク、パルプ、ペーパー、エトセトラ)

プロジェクトに依り得れる生産物の市場調査

プロジェクトに依って得られる各種産物市場調査

1. 提出を要する特に次の点に重要ポイントを置く：
 - (1) プロジェクトに依る生産量又は増加量を生産者の成立つ価格で消化出来る市場(国内又は国際)
 2. 生産される商品をスムーズに消化する為の現存している施設(道路、製材所、加工場)等の能力
 3. プロジェクトに依り生産される商品の販売ルート

人員の養成

それを必要と観た場合、プロジェクトの急々な活動の要求に基き実行機関の人員養成又は訓練のプランを提出しなければならない。同プランは教訓内容、方式、指導者と教訓プランにかかる費用の分析等を明細化する。

プロジェクトのコスト

1. プロジェクトを総額融資とした場合、報告は次の様にしなければならない。
 - ・ 総額費と主な投資。このインフォメーションは原型農場を基準に設定し、表で提出する。

2. 輸入額の内容(当国貨幣で)

経費増：総括的な借款の場合は経費増を考慮しない。

個々のプロジェクトの場合は次の様に行なわれる。

プロジェクト資金によって支払われる。資材並びにサービスの経費を記載し、プロジェクト実施期間内で予想される資材及びサービスのコスト増を予測し、またその予測に使用された基本的データ(投資及び実施スケジュール、国内及び国外の経費に対する増加率、投資開始までの期間換算率等)について詳細に説明しなければならない。

同じく使用された計算方式の理由づけを必要とする。

プロジェクトの財政：1. プロジェクト経費に関する表を基にサブ・プロジェクト毎の財政計画または投資のカテゴリーを次の内容を含め提出しなければならない。

・ B I D の財政

国外直接経費

国外間接経費

ローカル費

B I D 計

・ 国内財政

国外経費

国内経費

国内計

・ 合 計

※ 建設及び機材の一般コスト増については銀行の代理店に問い合わせる事。

2. 要請された借款の条件（返済期間、据置期間、据置期間中の利息、返済期間中の利息）※

技術協力：プロジェクト実施及び完成後の運営、運用、保守に必要と思われるもの

1 国際及び国内のコンサルタント

コンサルタントの概要（個人または専門会社）作業スケジュール、要求条件、必要期間及び必要経費の予想

2 人材育成

プロジェクトに関係する人材の（実施機関の職員）国内または外国での訓練計画

訓練分野、必要期間及び必要経費、訓練計画に次の内容を記す。分野毎の参加者数、コース数、期間、経費または必要な指導者、機材及び資料

社会、環境問題：1 色々なサブ・プロジェクトの工事実施及び運用による社会的有害影響に対する処置または対策

- 2 サブ・プロジェクトに関連する社会、環境等の運用者に対する訓練の必要性

※ 要請される借款の一般条件については、銀行の代理店に問い合わせる事。

第五章 計画実施

目的

此の章は、計画の遂行の方法を示す目的をもっている。その発展に含まれる種々の活動及び整理予定に対し又、遂行機関内の担当部に関する詳細な情報を提供する。(もし開始しておれば)計画の発展の現状を示す。

此の章は、次の情報を含まなければならない。

機関強化

1. 融資の材料の管理に使用する手法及び計画遂行部の強化の為の採用される対策、もしこれが問題であれば。
2. 計画の目的の達成及び又は、その能率的な遂行を確保する為に締結されようとする協定(ひな形を伴う)及び遂行者と借入人が発布しようとする規定。

工事及び業務の請負い契約、且、材料取得の手段

計画遂行の為に必要とする機械類及び材料の取得の場合に利用する手段を示す。又、そのように実行される工事の付与契約。同様に關する条件とその技術的補的の為の顧問の選択の為に適用される手段を示す。適切な時機に実行を達成する為、各遂行機関の其らの作業の遂行計画を頼りにすることは大切である。此に対して、工事の入札の日程、取得及び工事の入札の規則を提出しなければならない。

計画遂行の日程

1. 資材の取得及び工事遂行の日程。
2. 顧問達の業務及び加入の日程。
3. 従業員加入の目次。
4. 又貸にさし向ける資金の負債及び払込みの目次。

又貸の手続きの為の手段

申請されている又貸の承認又は拒絶によって到達する他の総ての手段及び意見、其の分析、手段、借入申請の受付の為に総合的な借入の場合は、手段を指示しなければならない。此の手續きの各手順の為に、完全な手段をとることによる期間の平均又責任、役目など中間金融機関又は、遂行機関の種の支局の責任及び参加を示す。

投資目次

計画の遂行の目次を基に、資金の出所を示して6ヵ月間毎の投資及び費用の査定目次(カレンダー)を提出する事、次の為:

1. 又貸の許諾
2. 資材の取得及び工事の投資
3. 従業員の費用(遂行機関内で増加する現地の従業員及び顧問)
4. 6ヵ月毎の費用及び投資の合計

資材の使用及び計画の統制及び監視

資材の使用の検査を行う方法及び計画遂行の監視の為に遂行機関が有する技術及び経営の手段及び機制に就て報告する。

融資の出る可能性の有る前の投資。

融資契約の調印後に行う投資を銀行は通常承認し融資する。

特別な場合に、融資の契約の偶発的な調印前、しかし申請書の提出後そして銀行の定めた期間中に、計画のなかに投資を予見していれば其の投資は其れらの目次を示し、詳細に指示しなければならない。*/

*/ 総合的な融資の場合、資金を約束する為の最大の期間は3年であり、その払込みは4年である。

*/ 其れらの期間については代表者に相談する。

第六章 財政への影響

目 的

其れらに関する他の財政責任の使用に害なく、計画の運営及び遂行から来る財政約束を十分にする為、含められた機関の能力を表示する十分な報告を与える目的を此の章は有する。

次の為能力を検証しなければならない。

- a) 計画に現地の出資を行う。
- b) 関する場合、申請された融資の業務を世話する。
- c) 計画の循環費用を融資する。
- d) 考慮した機関の其の他の財政責務を満たす。

此の章は、次の情報を含まなければならない。

財政計画

1 独自の資産及び自治運営、財政をもつ機関の場合

10年間の研究による計画の米ドルでの予想、次のものを含めて：

- (1) 結果の状態（利益及び損失）。
- (2) 資金の適用及び起源の状態。
- (3) 解釈をしやすくする為適切な説明又は注釈をもって、含められた考えを評価する為使用された仮定の詳細な説明。

特に次のものに関する：

- (1) 現地の反対記入の出資が生じる源及び方法。
- (2) B I Dの融資の払込み方法。

次の図に表示し、又計画の業務を含めて10年間の期間について遂行機関又は機関等の米ドルの予想：

- (1) 結果の状態（利益及び損失）
- (2) 資金の適用及び起源の状態
- (3) 財政状況の前形の状態

関する他の注釈及び資金の偶発的な不足を満たす為予見された融資の源を示し、利用された計算の基の詳細な報告を同様に伴う。

2 国家予算から生じる収入による中央政府又は国家行政部の機関である場合

10年間の研究による計画の米ドルでの予想。

投資及び執務の費用に適用を別に表示して、5年間の期間につき外国資金及び国内資金に対し遂行機関の要求の米ドルでの予想。各点について二の大きいグループを示す。

- (1) 考慮の計画又は、プログラムなし。

(2) 研究中の計画又はプログラムの実行を引き受けて。
解釈をしやすくする為に適切な説明又は注釈をもって利用された仕事の仮定の詳細な報告。

資金の偶発的な不足を満たす為予見された融資の源を示し、使用された計算の基の詳細な報告を同じく伴なう。

3. 個々に次のものを考慮しての財政計画の注釈：

- (1) 財政状況及び財政結果における計画の影響。
- (2) 計画の工事の運営及び遂行による責務を見守る為の財政的能力
- (3) 投資日次(カレンダー)に基づく計画に対する現地の出資を融資する為の資金の自由裁量及び能力。
- (4) 申請された融資の業務を世話する為の財政能力。*/
- (5) 現存の借金の業務を世話する為の財政力。

4. 次のものに当てる財政的手段

- (1) 計画の運営及び遂行を可能又は改善する。
- (2) 計画の遂行後(相応する場合)工事の維持を確保する。

*/ 偶発的な融資の業務を計算する基本とした財政的条件を示す。

第七章 社会・経済面の評価

目 的

遂行の為にしなければならない財政及び経済的努力に関して、計画により達成を期待する社会及び又は、経済的恩恵を評価する事をさせる判断の要素を提供する目的を此の章は有する。

総体の分析

其の結果としての生活及び収入のレベルが受益者達に対してもたらす度合、向上を表示し、そして遂行される地区における効果に基づいて、国の社会及び経済的發展に対する此の計画の寄与の分析をさせる判断の要素を具体的、そして簡単に表示する。

其らの判断の要素の中で次のものがさし示めされる事が出来る。

1. 社会及び経済的發展の国内案による計画の報告。其中でさし向ける優先権及び農業、林業方面に関する部分特に、そして其の関係を示す。
2. 計画の地区の田園の人口の残りの中に社会及び経済的な他の効果及び、計画の直接の受益者達に対して考えられる収入の基に人口の生活レベルの向上に対しての寄与。
3. 計画の結果として達成を期待する状況及び其の遂行前に存在する状況を比較しながら、林業生産性及び生産の増加に対する計画の寄与。
4. 勤め口のレベルの改善。計画の結果として生じるとする勤め口の最大のレベルを考慮しなければならない。其らの取り入れられた基盤の指示によって、計画が生じる間接的な勤め口については（工業方面、運送方面等）、評価する。
5. 輸入の代用及び、又は林業生産物の輸出の増加に対する寄与。計画の完全なる發展の年に対して、又、国の支払い均衡の其の効果の評価をする。
6. 更生出来る天然資源のより良い使用及び保存。もし利用される土地は、厳密に林業用か、あるいは農牧用にも利用するか、牧畜の場合は其の利用を理由づけて示す。更生できる天然資源のより良い保存に、そして、水路流域のOJD保護に対してどのように計画が寄与するか。
7. その他。計画の社会及び経済的利用を評価する為に役立つ他のいかなる見地でも示す。

社会、経済的理由づけ

此の理由づけは、計画から得る事を期待する直接及び間接的結果の合計により決定され、そして確固とさせる。此の為に、次のように行うように：

1. 計画が含む遂行の地域に有する状況の分析を提出する。他に：
 - (1) 年間の林業生産の容量及び価値。
 - (2) 特徴、処理のコスト（費用）及び商品化。

- (3) 家族収入のレベル及び特徴。
- (4) 失業及び又は、下請負いの大きさ。
- (5) 測定できる他のいかなる表示。

★/ 第2章、計画の関する範囲には現状の詳細を提出する。此の部分では、第2章の知らせでは、関する場合に摺括を提供する。

2. 計画遂行の為に設定した標での目的に基づき、実行される行動及びさまざまな投資を期待し影響を分析する。其の分析は次のものに気をつける。

- (1) 林業生産の容量及び価値、そして単位の収益の増大。
- (2) 森の産物の全体的利用及び最終的産物の品質の改良及び、又は単位のコスト減少にみちびく林業生産の商品化、商業化及び処理の改良。
- (1) 土地の保存及びより良い利用。
- (2) 勤め口の数の増大
- (3) 受益人口の生活及び収入レベルの改善。
- (4) 計画の遂行前の現状に關した社会及び経済的变化を見せる他のいかなる表示。

3. 目的達成の為、行う投資の的確な知識をもって、計画有るなし、二の状況の出現は、計画の社会及び経済的理由づけの為の基本的判断の要素を与える。

現在の正価及び償還内部利率

生産者のレベルの価格にその生産の全体増加価格を基本とし、計画により生じた利益の流通は、現在の正価及び、又は償還内部利率を決める為、新しい投資の増大生産のコストの流通とともに発展しなければならない。

★/ 現在の条件により良い選択が計画により示され、技術的に可能な事を表し、受け入れられる仮定の技術に、此らの物理的な目的は基づかなければならない。

データの獲得及び影響の評価

完成した計画の財政、社会、経済及び物理的影響を計量する目的をもって、其の目的に關して計画の結果につき基本的な統計の情報を獲得するシステムを通常設定する事が必要である。申請書は、相応なリストの中にある(2)其らのデータ及び計画の結果につき最少のデータを定期的に獲得し、そして、計画遂行前、基本的データのリストを用意する責任を有し、遂行機関では、此の意味で(1)どれが単位か設定しなまればならない。

此の目的をもって、此の情報を銀行へ定期的に送って、獲得の為の手法、そして偶発的融資の契約の中にどれが担当の機関であるか設定する。

計画の完成後(2年から5年後)、後の評価の分析的な研究を行う事を借金人が約束すると言う条項を偶発的な契約書に含めた場合、相応なその用語がどれか、そして、其の評価を行う機関はどれであるか表示しなければならない。

**BANCO
INTERAMERICANO
DE DESARROLLO**

**Departamento de
Análisis de
Proyectos**



**Guía para la
Formulación de
Solicitudes de
Préstamos**

**AGRICULTURA-
DESARROLLO
FORESTAL**

**GUIA PARA LA FORMULACION DE
SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID
SECTOR: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL**

**BANCO INTERAMERICANO DE DESARROLLO
Departamento de Análisis de Proyectos**

Abril de 1978

GUÍA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRÉSTAMOS AL BID	Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL
	Asunto: Índice

	Página
i - Introducción	1
ii - Modalidades operativas del Banco	3
iii - Fases de un Proyecto de Inversión	5
iv - Proyectos Elegibles	7
CAPITULO 1 - Resumen del Proyecto	11
CAPITULO 2 - Marco de referencia del Proyecto	13
CAPITULO 3 - El prestatario, el ejecutor y otras instituciones participantes	17
CAPITULO 4 - El Proyecto, su costo y financiamiento	21
CAPITULO 5 - Ejecución del Proyecto	31
CAPITULO 6 - Proyecciones financieras	35
CAPITULO 7 - Evaluación socioeconómica	39

GUÍA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRÉSTAMOS AL BID	Sector:	i
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	Introducción

Propósito

Con el fin de proporcionar a las instituciones interesadas de los países miembros del Banco Interamericano de Desarrollo una orientación sobre la información que debe suministrarse en las solicitudes de préstamo, se ha elaborado el presente documento de trabajo. Su contenido debe ajustarse y adaptarse de acuerdo a las características particulares de cada proyecto.

Los capítulos 1 al 7 de esta Guía muestran una forma de organizar y presentar la información relativa a la solicitud de préstamo, constituyendo una guía general de la información requerida por el Banco para el análisis multidisciplinario de los diversos aspectos del Proyecto. En algunos proyectos la información solicitada puede no ser totalmente aplicable; para otros se requerirán datos adicionales a los aquí señalados.

Las solicitudes de préstamo, con la información solicitada en esta Guía, deben dirigirse al Presidente del Banco y tramitarse a través de la Representación en el país respectivo, contando con la aprobación y asignación de prioridad de las correspondientes autoridades de los gobiernos centrales.

Posteriormente al recibo de la solicitud, el Banco podrá solicitar toda aquella información que resulte necesaria para el análisis y evaluación de la misma.

En caso de dudas sobre el contenido de esta Guía o la presentación y procesamiento de solicitudes de préstamo, la Representación del Banco en el país respectivo está disponible para las aclaraciones pertinentes.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	II
	Asunto:	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL Modalidades operativas del Banco

El Banco aporta recursos en calidad de préstamo de acuerdo a las siguientes modalidades:

Préstamos para proyectos específicos

Son aquellos destinados a financiar uno o más proyectos o subproyectos específicos que estén totalmente definidos al momento de aprobarse el préstamo del Banco. El proyecto o subproyecto específico debe definirse en función de su individualidad física y técnica; o sea que no puede ser dividido o fraccionado sin afectar la esencia del mismo o la racionalidad de cada uno de los elementos independientes. Se entiende que un proyecto o subproyecto específico está totalmente definido cuando su costo, diseño preliminar y viabilidad técnica, financiera, económica y social han sido evaluadas durante el análisis de la operación previo al respectivo préstamo.

Préstamos globales para programas de obras múltiples

Son aquellos préstamos destinados a financiar un conjunto de obras de naturaleza semejante físicamente independientes entre sí y cuya viabilidad no depende de la ejecución de un determinado número de tales obras.

La dimensión física y financiera del programa se ha hecho básicamente teniendo en cuenta la capacidad de ejecución de la entidad que llevaría a cabo la operación, el período de ejecución de cada obra o proyecto considerado individualmente, la disponibilidad de recursos y otros factores que son sustancialmente independientes de cada uno de los elementos específicos componentes puesto que éstos, tomados individualmente, normalmente tienen una magnitud física reducida. La independencia de los elementos específicos permite la divisibilidad de un programa global de obras múltiples, toda vez que pueda concebirse la eliminación o postergación indefinida de algunos elementos específicos sin que ello afecte la bondad de los demás elementos del programa.

Préstamos globales a instituciones de fomento

Son aquellos préstamos concedidos a instituciones de fomento de carácter financiero o agencias similares con el objeto de que éstas faciliten recursos mediante la concesión de subpréstamos para subproyectos cuyas necesidades de financiamiento no sean, en opinión del Banco, suficientemente grandes para justificar su intervención directa.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Modalidades operativas del Banco	ii
--	---	-----------

Préstamos (Cont.)

La ejecución de todo préstamo de esta naturaleza se rige por un "reglamento" acordado entre el Banco y el prestatario, mediante el cual se fijan las normas para su ejecución y aspectos, como criterios de elegibilidad de los beneficiarios, términos y condiciones de los subpréstamos, sectores o proyectos que pueden ser atendidos con los créditos y otros parámetros y/o restricciones que rigen la utilización de los recursos del préstamo y del aporte local.

Operaciones con modalidades mixtas

Son operaciones que consideran una combinación de las modalidades antes mencionadas atendiendo a las características de un determinado proyecto.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	iii
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	Fases de un Proyecto de Inversión

Las etapas o fases que comprende un proyecto de inversión pueden definirse como sigue:

Identificación del Proyecto

Se presentan uno o más proyectos o alternativas de proyectos como solución a un problema o a una necesidad percibida.

Estudio de prefactibilidad

Se estudian inicialmente las alternativas de proyectos en relación con objetivos económicos, financieros y sectoriales; a largo plazo, con el objeto de eliminar las menos viables y establecer los parámetros preliminares de alcances, costos y diseños de aquellas que justifican un análisis en profundidad.

Estudio de factibilidad

Se estudian en profundidad factores técnicos, financieros, institucionales, jurídicos, económicos, sociales y otros factores relevantes, para definir y formular la alternativa de proyecto más atractiva y para establecer su factibilidad.

Preparación y organización de la ejecución

Se realizan acciones preparatorias para posibilitar la ejecución del proyecto, incluyendo el diseño final de proyecto; estimación de sus costos; planes, presupuestos y organización de su ejecución; obtención del financiamiento; selección de consultores; precalificación de contratistas y proveedores; y varias otras medidas.

Ejecución

Se realiza el proyecto. Incluye las actividades de terminación del mismo, que permiten que el proyecto comience a operar y a producir los beneficios previstos.

Inicio y operación

Comprende el corto período inicial de puesta en operación del proyecto y el subsecuente largo período de operación en el cual el proyecto cumple las funciones para las que estaba destinado.

Evaluación de Impacto

El proyecto ya en operación es reexaminado y evaluado para establecer el grado en que satisface las necesidades para las cuales fue inicialmente concebido, en que operará como estaba previsto y en que consigue los beneficios proyectados.

Sector:	Asunto:	iii
AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Fases de un Proyecto de Inversión	

**Participación del
BID**

En mayor o menor grado, el Banco participa en todas las fases mencionadas, pero sus vinculaciones principales se establecen durante las fases de estudio de factibilidad hasta la terminación de la ejecución del proyecto. Los proyectos sometidos a la consideración del Banco se basan generalmente en estudios de factibilidad y su análisis se efectúa con enfoque multidisciplinario que evalúa la factibilidad técnica, financiera, institucional, jurídica, social y económica de la inversión propuesta.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	iv
	Asunto: Proyectos Elegibles	

**Características
generales**

Los proyectos de desarrollo forestal que se presenten a la consideración del Banco, deberán tomar en cuenta, entre otros, los siguientes requisitos:

1. Ajustarse a las metas y orientaciones de los planes nacionales de desarrollo;
2. Su ejecución debe garantizar la utilización ordenada de los recursos forestales, sin causar desequilibrios ecológicos;
3. Su rentabilidad económica y financiera sean satisfactorias;
4. Deben apoyarse en programas adecuados de investigación y de formación y capacitación de personal, los cuales podrán ser parte integral del proyecto;
5. Las actividades del proyecto deben generar oportunidades de empleo acordes con el monto de las inversiones a efectuar y las características socio-económicas de la región;
6. La producción propuesta, debe contemplar el mejor uso de la aptitud del suelo y la más adecuada conservación de los recursos naturales renovables;
7. Deben contemplar adecuados procesos de comercialización de la producción generada por el proyecto;
8. Cuando sea necesario debe complementarse con obras de infraestructura física apropiadas al aprovechamiento y conservación de los bosques naturales y/o plantados.

**Campos de acción
financiables por
el Banco**

Los proyectos deberán estar apoyados por una estructura institucional adecuada y disponer de una legislación forestal apropiada, a menos que el proyecto contemple dentro de sus objetivos el mejoramiento y fortalecimiento de estos factores básicos:

1. Aprovechamiento y explotación racional de los bosques naturales existentes, orientado al más eficiente aprovechamiento industrial de los diferentes tipos de

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Proyectos Elegibles	iv
--	--	-----------

Campos (Cont.)

madera, así como a la conservación y regeneración, si fuera del caso, del recurso existente;

2. Establecimiento de nuevas plantaciones en tierras con aptitud forestal, para suministrar materias primas a industrias existentes o proyectadas. Las especies seleccionadas deberán ser las que hayan demostrado ser técnica y económicamente las más convenientes, ya sea por ser propias del "habitat" en que se establecerán las plantaciones, o por haberse probado mediante trabajos experimentales;
3. Establecimiento de industrias para el aprovechamiento integral y óptimo, tanto de los bosques naturales como de las plantaciones. Entre las industrias financiables estarían las fábricas de pulpa y papel, los aserraderos para la producción de madera de construcción y de obra, así como plantas para la producción de madera terciada, madera contrachapada, tableros de fibra y madera aglomerada. Asimismo, se considerarían financiables las fábricas de procesamiento de las resinas y de otros productos forestales distintos a la madera. Para estimular el máximo aprovechamiento y alcanzar resultados económicos satisfactorios se dará preferencia a las operaciones integradas, esto es, a las combinaciones de diversas industrias, cada una de las cuales utilice diferentes tipos de madera o los árboles de distintas edades, lo cual es necesario para lograr un manejo racional del bosque, ya sea natural o artificial. Dentro del campo industrial debe comprenderse también la instalación y equipamiento de plantas de secado, tratamiento, selección, clasificación y otras técnicas que aseguren una mejor conservación y comercialización de los diferentes tipos de productos elaborados;
4. Operaciones de corta y transporte de la materia prima, ya sea de bosques naturales o de las plantaciones, para los cuales se requiere equipo de maderero, tractores, vehículos y otras inversiones que faciliten el manejo y acarreo de las trozas o rollos hasta las plantas industriales;

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Proyectos Elegibles	iv
---	------------------------------------	----

Campos (Cont.)

5. Infraestructura de acceso a las zonas forestales, especialmente sistemas viales que permitan tanto el acarreo de la materia prima a las plantas industriales, como el transporte de los productos elaborados a los centros de consumo o distribución;
6. La regeneración de bosques naturales o el establecimiento de plantaciones con objetivos múltiples, especialmente aquéllos que tienen por objeto la recuperación de tierras en proceso de erosión o la conservación y protección de suelos agrícolas; así como la protección de cuencas hidrográficas, tanto para regular el flujo de los recursos acuíferos, como para defender las obras hidráulicas como presas y canales, de los daños que puedan causar la sedimentación, los aludes, los cambios de cauce de los ríos y otros fenómenos similares. Dentro de este campo de actividad se debe incluir también la preservación de parques nacionales que tiendan a conservar la flora y fauna silvestre y sirvan como atractivo turístico. Finalmente, se considerarían dentro de proyectos con objetivos múltiples las actividades de aprovechamiento o plantación forestal de los programas de colonización, en los cuales se procura un equilibrado uso de los suelos en razón de su aptitud, combinando armónicamente la producción forestal con la agropecuaria, en lugar de favorecer el desmonte indiscriminado del recurso forestal, con los consiguientes perjuicios ecológicos; y
7. El fortalecimiento de las instituciones oficiales dedicadas a la promoción del desarrollo forestal y al control del recurso. Dentro de este campo se pueden incluir varias actividades, tales como:

Las investigaciones que puedan generar soluciones para muchos de los problemas existentes en la conservación, manejo y el aprovechamiento de los bosques naturales; determinar las mejores especies y sistemas de plantación, cuidado y explotación de los bosques artificiales; y proveer mejores métodos para tratar y utilizar la madera extraída;

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Proyectos Elegibles	iv
--	--	-----------

Campos (Cont.)

La formación de técnicos forestales, tanto a nivel universitario como a nivel medio y vocacional, necesarios para realizar los trabajos de investigación, plantación, manejo, control y producción industrial comprendidos en los programas de promoción forestal;

Los servicios de protección contra incendios, tanto a través de sistemas de vigilancia como de medios de acción rápida para controlar los que se produzcan;

Los servicios de control de plagas y enfermedades;

Los mecanismos de protección y vigilancia para evitar el aprovechamiento indiscriminado de los árboles de los bosques naturales, con el consiguiente daño en la conservación de recursos;

Los servicios de divulgación para lograr un mejor manejo del recurso natural y el empleo de las mejores especies y las técnicas más avanzadas en el establecimiento de nuevas plantaciones;

La realización de estudios catastrales o aéreos de los bosques, así como inventarios forestales; y

Los estudios de mercado, tanto regional como extraregional, que permitan diversificar la exportación de los productos forestales a los mercados internacionales, y que favorezcan el comercio intraregional en base a la distribución de las industrias forestales entre los países de la región y posiblemente el establecimiento de industrias multinacionales, y/o de integración.

Observaciones

Si el proyecto contempla subpréstamos a empresarios individuales, el uso de esta guía debe complementarse con la guía AGRICULTURA - CREDITO GLOBAL que puede obtenerse a través de la Representación del BID en el país respectivo.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO I
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	Resumen del Proyecto

Objetivo

El propósito de este capítulo es el de ofrecer al lector en forma sintética una visión global del Proyecto mediante la presentación de la información más esencial y básica. Este capítulo será el último que se elabore, ya que su contenido será una síntesis de la información brindada con mayores detalles en los capítulos subsiguientes.

En el resumen del Proyecto se brindará la siguiente información:

El prestatario y el ejecutor

Quién será el prestatario y la entidad o entidades ejecutoras.

El Proyecto, sus características y objetivos

Breve descripción de las características y objetivos básicos del Proyecto, y relación de las principales obras y/o actividades que se ejecutarían, señalando la prioridad otorgada al Proyecto por el organismo nacional correspondiente.

Zona de ejecución del Proyecto

Zona o zonas donde se ejecutaría el Proyecto.

Beneficiarios

Quiénes serían los grupos beneficiarios y número estimado de éstos, según estratos socioeconómicos.

Costo total del Proyecto y monto del préstamo solicitado

Costo total del proyecto; monto del préstamo que se solicita; aporte local y fuente de recursos; requerimientos en moneda extranjera y en moneda local.

Condiciones financieras sugeridas para el préstamo solicitado

Información sobre las condiciones financieras tentativas previstas en el proyecto para el préstamo solicitado. (Plazo, tasa de interés, período de gracia, etc.)

Ejecución del Proyecto

Grado de preparación del Proyecto y el tiempo previsto para su ejecución.

Requerimientos de cooperación técnica

Necesidades de cooperación técnica para fortalecer aspectos específicos del Proyecto, indicando propósito y monto requerido para su financiamiento.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO 2
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
Asunto: Marcó de referencia del Proyecto		

Objetivo

Este capítulo tiene el propósito de proporcionar una visión general del subsector de desarrollo forestal a nivel nacional, regional y/o local, como asimismo de establecer las posibles relaciones entre diferentes problemas del sector y soluciones que se estén adoptando para resolverlos. Este capítulo debe contener la siguiente información:

Información general

1. Importancia relativa de la producción agropecuaria y forestal en la economía nacional.
2. Para los últimos cinco años como mínimo, ofrecer: (i) estadísticas sobre volumen y valor de la producción forestal; y (ii) estadísticas de importaciones y exportaciones de productos forestales y su relación con las importaciones y exportaciones totales.
3. Empleo y subempleo en la zona de ejecución del proyecto. niveles de ingreso y tasas migratorias.
4. Infraestructura básica de servicios disponibles en la zona de ejecución del proyecto (crédito, investigación, extensión, educación, salud, etc.)
5. Estimado para cada uno de los últimos tres años, del monto de las inversiones públicas en el sector rural; principales características de las mismas.
6. Planes o metas para el desarrollo forestal en los próximos años.

Principales características físicas del área de ejecución del Proyecto

1. Superficie total.
2. Clima (régimen de lluvias, temperatura, humedad).
3. Suelos (deben ser descritos con suficientes detalles para brindar una idea sobre la capacidad de uso de los mismos). Topografía (magnitud de las pendientes y área que comprenden).
4. Recursos de agua; drenaje.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Marco de referencia del Proyecto	CAPITULO 2
--	---	------------

Recursos forestales existentes

1. Localización, superficies y descripción de los recursos forestales en el país y en el área del Proyecto, basada en inventarios forestales.
2. Sistemas de aprovechamiento: raleos, turnos de corta y corta final, indicando para cada especie el número promedio de años desde la plantación hasta el momento en que se hace cada uno de ellos.

Producción y demanda de productos forestales

En base a la nomenclatura del Anuario Estadístico de Productos Forestales de FAO (madera en rollo, madera aserrada, tableros, aglomerados, pulpa, papel, etc.), ofrecer la siguiente información, que sea pertinente al proyecto:

1. Producción total según su origen (bosques naturales y plantaciones).
2. Consumo aparente. Tendencia de la demanda.

Estímulos a la inversión forestal

1. Incentivos fiscales y tributarios.
2. Gravámenes a los productos importados.
3. Crédito preferencial. Características de los mismos. Volumen de los créditos otorgados en los últimos cinco años. Fuente de los recursos para créditos.
4. Otros incentivos.

Aspectos sociales en el área de ejecución del Proyecto

1. Estructura agraria (indicar tenencia y tamaño de las fincas ubicadas en el área del Proyecto). Disponibilidad de tierras públicas.
2. Población total y población rural. Migraciones.
3. Empleo y desempleo (si no existen cifras disponibles, es aconsejable hacer una estimación por muestreo).
4. Niveles de ingreso de la población rural del área del Proyecto y su comparación con los niveles nacionales.
5. Salario mínimo rural en el área del Proyecto.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Marcó de referencia del Proyecto	CAPITULO 2
---	--	-------------------

Aspectos (Cont.)

6. Otros indicadores sociales (vivienda, salud, nutrición, etc.).

Infraestructura social y de servicios

1. Caminos y facilidades de transporte (longitud de diferentes tipos de caminos; tonelaje estimado de productos transportados).
2. Servicios de electricidad y de agua potable.
3. Facilidades de almacenamiento y comercialización.
4. Servicios sociales disponibles en el área (hospitales o centros de salud, escuelas primarias y secundarias; etc.).

Legislación forestal

Presentar una síntesis de la legislación y regulaciones forestales vigentes que afectarían al Proyecto, e indicación si se requiere o no legislación o regulaciones complementarias. (Acompañar copia de las leyes o regulaciones forestales existentes de interés para la ejecución del Proyecto).

Proyectos semejantes

Descripción resumida de proyectos semejantes al propuesto, ya ejecutados o en ejecución. Resultados obtenidos.

Financiamiento internacional

1. Operaciones del BID en el sector, tanto de préstamo como de cooperación técnica.
2. Operaciones de otros organismos internacionales, regionales y bilaterales de financiamiento y de cooperación técnica en el sector (descripción resumida, estado de ejecución, resultados obtenidos).

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO 3
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto: El prestatario, el ejecutor y otras instituciones participantes	

Objetivo

Este capítulo tiene el propósito de presentar una visión completa del marco institucional en que se ejecutaría el Proyecto, así como de la situación financiera y legal de las instituciones involucradas en el mismo. Este capítulo debe incluir la siguiente información:

Aspectos institucionales

1. Indicación de las instituciones que intervendrán directamente en la ejecución y operación del Proyecto, ya sea como prestatario, ejecutor, garante, aportante de la contrapartida local, etc.
2. Reseña de las instituciones de los sectores público y privado que se vinculen con los servicios a ser proporcionados mediante el Proyecto, indicando sus campos de acción, interrelaciones y coordinación, trayectoria histórica y proyecciones de acciones futuras.
3. Señalar separadamente las diferentes entidades ejecutoras, indicando los subproyectos que estarían a su cargo y presentar para cada una de ellas la siguiente información:

Las leyes, resoluciones, etc., que dieron origen a su constitución, con indicación de fechas, facultades legales, funciones asignadas y fuente de recursos. En el caso de que la entidad tuviera su origen en otra u otras entidades, indicar nombre y fecha en que se originaron las entidades predecesoras.

En lo relativo a su organización y funciones:

- Estructura administrativa y técnica de la entidad (acompañar organigrama).
- Composición y forma de selección de los directivos y principales ejecutivos.
- Atribuciones y responsabilidades del órgano rector y de los funcionarios de más alta categoría.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El prestatario, el ejecutor y otras instituciones participantes	CAPITULO 3
---	---	------------

Aspectos institucionales (Cont.)

- Número y localización de las oficinas, agencias o dependencias de la entidad a nivel nacional, regional y local. En especial, describir las unidades que estarían vinculadas al Proyecto propuesto.
- Funciones y responsabilidades básicas de las unidades vinculadas al Proyecto, con indicación de sus relaciones de mando y grado de centralización o descentralización de las operaciones o actividades a su cargo.
- Planes para la reestructuración de la entidad, si éstos existen.

El personal - información resumida sobre:

- Política de personal, con indicación de las normas de reclutamiento, selección, promoción y separación del personal; capacitación y adiestramiento del personal existente, remuneración, etc.
- Número total de funcionarios y empleados; su clasificación (personal técnico y administrativo); su distribución, por principales oficinas o dependencias de la entidad; su antigüedad, etc.
- Indicar qué parte de este personal estaría vinculado directamente a las actividades del Proyecto, complementando esta información con un cuadro clasificando por especialidades el personal profesional y técnico.
- Currículos de los principales funcionarios directivos y ejecutivos de la entidad (presentarlos como anexos).

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El prestatario, el ejecutor y otras instituciones participantes	CAPITULO 3
--	--	-------------------

Aspectos institucionales (Cont.)

- Si con motivo del Proyecto, se hubiere previsto ampliar el personal, indicar el número y tipo de personal que se incorporaría durante cada año de ejecución del Proyecto.*/
4. Indicar los bienes y otros recursos físicos incorporados al patrimonio o puestos a disposición de la entidad, que tienen relación directa con las necesidades del Proyecto. El grado de detalle en su descripción dependerá del tipo de subproyecto a cargo de la entidad; en general, comprenden terrenos, edificios, maquinarias y equipos agrícolas, laboratorios, centros de cría, etc.
 5. Información breve sobre normas o procedimientos para compras, licitaciones, contrataciones, etc.
 6. Sistemas de contabilidad y auditoría de que disponen, así como de otros servicios administrativos auxiliares. En anexo deben acompañarse los reglamentos, manuales y otros relacionados con los procedimientos administrativos de interés para la ejecución del Proyecto.

Aspectos financieros

De cada una de las entidades ejecutoras debe brindarse la siguiente información:

1. Dependencias gubernamentales: Presentar para cada uno de los tres últimos años, Balances de Ejecución Presupuestaria (Presupuesto y Ejecución Presupuestaria), de la Dependencia y del Ministerio a que pertenezca, con comentarios de las principales causas de las variaciones.

*/ En lo posible deben proveerse indicadores de productividad del personal técnico (ej., número de agricultores atendidos por cada agente de extensión) para facilitar las proyecciones de necesidades futuras.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El prestatario, el ejecutor y otras instituciones participantes	CAPITULO 3
---	---	------------

**Aspectos Financieros
(Cont.)**

2. Entidades autónomas: Presentar para cada uno de los tres últimos años: Estado de Situación Financiera, Estado de Resultados o de Pérdidas y Ganancias, Estado de Origen y Aplicación de Fondos. Estos estados deben venir acompañados de comentarios sobre las cuentas principales.
3. Instituciones de Crédito:*/ En los casos de instituciones de crédito; presentar, a la fecha más reciente posible, información sobre la situación de la cartera y de las cuentas a cobrar, incluyendo:

Detalles de la morosidad y su clasificación por antigüedad.

Causas de la morosidad y medidas para reducirla.

Suficiencia de la provisión para reservas para préstamo y/o cuentas de dudoso cobro.

Las cifras deben expresarse en moneda local y en su equivalente en dólares de U.S.A., indicando la metodología empleada para la conversión de monedas.

*/ Consultar la Guía correspondiente sobre Agricultura - Crédito Global a Instituciones Financieras de Desarrollo.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO 4
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	El Proyecto, su costo y financiamiento

Objetivo

Este capítulo tiene el propósito de proporcionar las informaciones necesarias para que el Banco tenga una clara comprensión del Proyecto, de sus diversos componentes, de sus costos y de su importancia para el sector de Desarrollo Forestal, tanto a nivel nacional, como regional y local.

La información proporcionada debe ser completa y detallada, para posibilitar un análisis multidisciplinario de sus aspectos técnico, financiero, institucional, jurídico y económico. El Proyecto será considerado técnicamente completo cuando la información suministrada demuestre que, además de haberse tenido en cuenta todos los aspectos técnicos pertinentes del mismo, las operaciones financiero-contable se conforman a las normas y prácticas técnicas de uso corriente y que el costo estimado del Proyecto se compara favorablemente con el de cualquier otra alternativa razonable disponible que pudiera producir los resultados previstos.

La documentación correspondiente a este capítulo podrá ser presentada en la forma que se estime más conveniente, ya sea en forma de narraciones, de cuadros y/o tablas, de gráficos y/o diagramas, etc. Este capítulo debe incluir la siguiente información:

Zona de ejecución del Proyecto

1. Area geográfica y límites de la misma.
2. Criterios ^{*/} que se emplearon en su selección, tales como:

características ecológicas y su relación con las especies seleccionadas;

mejores alternativas de uso de los suelos, frente a alternativas agrícolas o ganaderas;

disponibilidad de obras de infraestructura, especialmente viales y eléctricas, que faciliten el transporte y procesamiento de la producción;

^{*/} Fundamentar los criterios empleados con información estadística o estudios específicos en cada caso, acompañándolos como anexos si fueren muy extensos.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
--	---	------------

Zona. (Cont.)

medidas conservacionistas tales como: recuperación de suelos erosionados, protección de cuencas hidrográficas, prevención de sedimentación en los vasos de presas, protección contra el avance de dunas, etc.;

existencia de industrias para el procesamiento de madera y sus subproductos. */

Objetivos y metas del Proyecto

1. Indicar los objetivos y metas básicas del Proyecto, expresado en hectáreas a aprovechar racionalmente en bosques naturales o a plantar; y producción a lograr.
2. Señalar otros objetivos complementarios, tales como: generación o ahorro de divisas por incremento de las exportaciones o sustitución de las importaciones; generación de empleo; uso más racional del suelo; conservación de recursos naturales, protección de represas; otras.

Descripción del Proyecto

Indicar las características del programa, tales como por ejemplo aprovechamiento racional de bosques existentes, o establecimiento de nuevos bosques que se establecerían mediante un programa de crédito global en el que se otorgarían subpréstamos a plantadores forestales indicando además si son acompañados de obras de infraestructura, de apoyo al fortalecimiento institucional y de servicios de asistencia técnica a los productores. En este último caso deberá describirse cada una de estas actividades o inversiones, especialmente si los recursos se canalizarían a través de diferentes entidades.

La información básica que debe aportarse en la descripción del Proyecto, es la siguiente:

1. Especies seleccionadas en base a la calidad y destino de la materia prima a obtener; su prioridad y adaptabilidad a las condiciones ecológicas. **/

*/ Debe detallarse la capacidad industrial existente o proyectada a corto plazo.

**/ En un anexo debe presentarse un análisis detallado de los costos de producción y rendimiento de cada una de las especies seleccionadas.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento.	CAPITULO 4
--	--	-------------------

Descripción del Proyecto (Cont.)

2. El cronograma de aprovechamiento o establecimiento de plantaciones forestales, indicando superficies, por especie y por año.
3. La ampliación o establecimiento de viveros, privados y/o públicos para abastecer la superficie a plantar mediante el Proyecto.
4. El plan de aprovechamiento de la producción, indicando: (i) los períodos de raleo y corta final, o los turnos de corta, según sea el caso, y (ii) los volúmenes y destino de cada tipo de producción.
5. Obras de infraestructura a ejecutar (caminos, electrificación, construcción de escuelas, casas de salud y otras facilidades comunales).
6. Creación o fortalecimiento de los servicios de investigación y extensión forestal. Indicar: (i) estaciones o campos experimentales que se establecerán o ampliarán, y superficie de bosques de investigación, demostración o producción de semillas que se plantarán; y (ii) número de agencias de extensión que se crearán o ampliarán y de técnicos que se le asignarán; describir cómo actuaría el servicio de extensión desde el planeamiento de las plantaciones hasta su aprovechamiento.
7. Servicios de sanidad vegetal que se prestarían para la prevención y control de plagas y enfermedades.
8. Servicios y medidas para el control de incendios.
9. Capacitación y adiestramiento de personal.
10. Fortalecimiento institucional de la entidad ejecutora (describir las características y alcances del fortalecimiento que debe recibir la entidad para una adecuada ejecución del Proyecto).

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
--	---	-------------------

Política para subpréstamos */

En el caso de que el Proyecto contemple otorgar subpréstamos a plantadores forestales, debe indicarse la política que se adoptará en la concesión de los mismos. Especialmente debe indicarse:

1. Propósitos para los que se otorgarían subpréstamos.
2. Monto máximo por tipo de inversión y total por agricultor.
3. Características de los subpréstamos a otorgar: (i) plazos, criterios para su fijación; (ii) tasa de interés; (iii) períodos de gracia y su justificación; y (iv) garantías exigibles.
4. Sistemas de supervisión y control de los subpréstamos.

Requerimientos del Proyecto

Se indicarán los requerimientos del Proyecto para:

1. Las actividades de crédito: producción de plantas en vivero; adecuación y preparación de suelos; plantación; cercas; replante, cuidados y mantenimiento durante los primeros años, maquinaria, equipo y otros bienes; etc.
2. Las acciones de asistencia técnica y otros servicios de apoyo como son los de sanidad, control de incendios, capacitación, etc., para los cuales se deberá determinar las necesidades de:

Personal: profesional, técnico, administrativo y de servicio. Comentarios sobre las posibilidades de satisfacer las necesidades estimadas.

Vehículos, maquinarias, equipos y otros bienes.

*/ Debe acompañarse como anexo el proyecto de Reglamento que se emplearía para el otorgamiento de subpréstamos.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
---	---	------------

Requerimientos del Proyecto (Cont.)

Cooperación técnica al ejecutor: Si la entidad ejecutora pretendiese crear nuevos servicios o mejorar los existentes, y estimase que para ello habrá de requerir cooperación técnica, consignar el costo estimado de la misma. Dicho costo puede ser considerado entre los renglones a financiar con los recursos del préstamo.

3. Otras inversiones o actividades previstas en el Proyecto.

Fincas modales

En los casos de préstamos globales en los que se otorgarían subpréstamos, se procederá así:

1. Se estructurarán fincas modales que representen en la forma más aproximada posible los tipos de fincas que se financiarían con los recursos del Proyecto, indicando los criterios empleados para la selección de las mismas. Este punto es de importancia básica para describir y analizar el Proyecto.
2. Se hará el análisis del resultado del financiamiento de las fincas modales (flujo de caja y cuadro de rentabilidad).
3. Medidas de eficiencia. Se deberá incluir el análisis de la situación inicial y futura, es decir, con y sin el Proyecto, de las fincas a ser incorporadas al mismo en relación a: utilización de los recursos existentes, tecnología, desarrollo esperado de la producción, rendimiento y resultados económicos (relación beneficio/costo o tasa interna de retorno) a nivel de fincas modales.
4. Para cada finca modal, se elaborará un presupuesto que incluya todas las inversiones requeridas y los gastos operativos distribuidos en el período de desarrollo de las unidades. Asimismo, se proyectarán, para el período de vida de la plantación, los ingresos y gastos que se espera habrán de producirse.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
---	---	------------

Empleo de tecnología apropiada

En cada una de las diferentes inversiones o actividades del Proyecto, debe señalarse la posible aplicación de tecnologías intermedias o de menor intensidad de capital, que pudieran ser apropiadas a los objetivos del Proyecto, tomando como base las condiciones socioeconómicas regionales o locales.

Beneficiarios

Identificar, clasificar y cuantificar los posibles beneficiarios del Proyecto y de la superficie promedio a plantar por beneficiario de cada grupo, así como total para cada uno de los posibles grupos:

1. Empresas o entidades públicas.
2. Productores privados.

individuales:

- productores forestales en la actualidad;
- productores agropecuarios; e
- inversionistas no dedicados a la actividad agropecuaria.

asociados:

- cooperativas u otras formas de grupos asociativos, los que se calificarán según las características y niveles de la mayoría de sus miembros (75% o más), indicadas para los productores individuales; y
- empresas dedicadas a forestación y a industrias forestales, o a otros fines complementarios (turismo, etc.)

Producción que se generaría con el Proyecto

De acuerdo a la naturaleza del Proyecto, indicar en forma cronológica, los volúmenes y valores de la producción que se espera obtener de los diferentes tipos:

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
--	---	------------

Producción (Cont.)

- . productos primarios (trozas);
- .. productos secundarios (madera aserrada); y
- ... productos elaborados o transformados (triplex, madera aglomerada, pulpa y papel, etc.)

Estudio de mercado de la producción que se generaría con el Proyecto

Deberá presentarse un estudio de mercado de cada uno de los diferentes tipos de productos que se generarían con el Proyecto, poniendo especial énfasis en los siguientes aspectos:

1. Capacidad del mercado (nacional o internacional) para absorber, a precios reamnerativos para el agricultor, la producción que se originaría o incrementaría como resultado del Proyecto.
2. Capacidad de la infraestructura existente (camino, aserraderos, plantas de procesamiento, etc.) para el oportuno servicio de la producción que se originará.
3. Canales de distribución y venta de los productos generados por el Proyecto.

Capacitación de personal

De estimarse ello necesario, debe presentarse un plan para la capacitación o adiestramiento de los funcionarios de las entidades ejecutoras, de acuerdo con los requerimientos de las diferentes actividades del Proyecto. Dicho plan debe brindar detalles sobre el tipo de capacitación a ofrecer, eé todos a utilizar en la capacitación, personal a emplear como instructores y análisis detallado del costo del plan de capacitación.

Costo del Proyecto ^{*/}

Si el proyecto consistiere en un préstamo global, la información debe presentarse así:

1. Costo total y por principales tipos de inversión. Esta información se determinará en base a las fincas modelos y se presentará en fuerza

^{*/} Los costos deben presentarse en su equivalente en US\$, indicando la tasa de cambio o la metodología utilizada para la conversión de monedas.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
--	---	------------

Costo del Proyecto (Cont.)

de cuadro, clasificando los subpréstamos a otorgar según sean para capital de trabajo o para inversiones de capital.

2. Monto del contenido importado (directo e indirecto) y en moneda local.

Escalamiento de Costos

En los casos de préstamos globales no se tomará en consideración el escalamiento de costos. Si se tratare de un proyecto específico se procederá así:

Al hacer figurar el costo de cada uno de los bienes y servicios a financiar con los recursos del Proyecto, debe estimarse para cada uno de ellos el escalamiento de costos que se prevé durante el período de ejecución del Proyecto y ofrecerse una información detallada de los datos básicos utilizados (calendario de ejecución y de inversiones, tasas anuales de escalamiento aplicadas a costos externos y locales, lapsos previstos hasta la iniciación de las inversiones, tasas de cambio, etc.). Asimismo, debe ofrecerse una justificación de las bases de cálculo empleadas. */

Financiamiento del Proyecto

1. En base al Cuadro Resumen del Costo del Proyecto, debe presentarse un cuadro del Plan de Financiamiento por subproyecto y/o Categorías de Inversión indicando:

Financiamiento BID para:

- . Costos externos directos
- . Costos externos indirectos
- . Costos locales
- . Subtotal BID

Financiamiento local para:

- . Costos externos
- . Costos locales
- . Subtotal local

Total

*/ Consultar con la Representación del Banco las tasas habituales de escalamiento de costos en obras de construcción y en equipos.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: El Proyecto, su costo y financiamiento	CAPITULO 4
--	---	-------------------

Financiamiento del Proyecto (Cont.)

2. Condiciones financieras tentativas propuestas para el préstamo solicitado (plazo de amortización, período de gracia, interés durante el período de gracia, interés durante el período de amortización). ^{*/}

Cooperación Técnica

Actividades de apoyo que se consideran esenciales para la ejecución del Proyecto y para la adecuada administración, operación y mantenimiento de las instalaciones y servicios:

1. Consultorías internacionales y nacionales. Términos de referencia de los consultores (individuales, firmas consultoras o entidades especializadas), cronogramas tentativos de trabajo, requisitos exigidos a los candidatos, tiempo requerido y estimación de costos.
2. Capacitación de personal local. Programa de adiestramiento de personal asociado al Proyecto (funcionarios de entidades ejecutoras) mediante becas de estudio o actividades de capacitación tanto en el país como en el extranjero. Especificación de áreas de estudio, estimación de tiempos requeridos y costos correspondientes. En los programas de adiestramiento, especificar para cada campo: número de participantes, número de cursos, duración, periodicidad y costos respectivos, así como necesidad de instructores, equipos y materiales.

Aspectos ecológicos y ambientales

1. Medidas y regulaciones que se aplicarían para prevenir o minimizar los posibles efectos nocivos en el medio ambiente de las estructuras, instalaciones y procesos empleados en la ejecución y operación de los distintos subproyectos.
2. Necesidad de adiestramiento de personal a cargo de los servicios, en aspectos ambientales y ecológicos vinculados con los subproyectos.

^{*/} Consultar con la Representación del Banco sobre condiciones financieras generales de los fondos eventualmente utilizables para el préstamo que se solicitaría.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO 5
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	Ejecución del Proyecto

Objetivo

Este capítulo tiene el propósito de señalar la forma en que se ha planificado la ejecución del Proyecto, proporcionando información detallada sobre la unidad responsable del mismo en la institución ejecutora y sobre la programación, coordinación y realización de las diversas acciones involucradas en su desarrollo, como también de indicar el estado actual de desarrollo del Proyecto (si ya se ha iniciado). Este capítulo debe incluir la siguiente información:

Fortalecimiento institucional

1. Medidas a adoptar, si éste fuera el caso, para el fortalecimiento de las unidades ejecutoras del Proyecto y de los mecanismos a emplear en el manejo de los recursos del préstamo.
2. Disposiciones que el Prestatario y el Ejecutor se proponen dictar, y convenios (acompañar modelos) que se proponen celebrar para asegurar el logro de los objetivos del Proyecto y/o su eficiente ejecución.

Procedimiento para la adquisición de bienes y la contratación de servicios y de obras

Indicar los procedimientos que se utilizarían en el caso de adquisición de los materiales y equipos requeridos para la ejecución del Proyecto, así como la adjudicación de contratos para la construcción de las obras a realizarse. Asimismo, indíquese los procedimientos a adoptar para la selección de consultores para asistencia técnica y sus términos de referencia. Es importante contar con el plan de ejecución de dichas operaciones de cada entidad ejecutora, a fin de lograr su realización en tiempo oportuno. A este efecto, debe presentarse un calendario de licitación de obras, así como el reglamento de licitaciones de construcciones y de adquisiciones.

Calendario de ejecución del Proyecto

1. Calendario de ejecución de obras y de adquisición de bienes.
2. Calendario de incorporación y servicios de consultores.
3. Calendario de incorporación de personal.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Ejecución del Proyecto	CAPITULO 5
--	---------------------------------------	------------

Calendario (Cont.)

- h. Calendario de compromisos y desembolsos de los recursos destinados a subpréstamos. ^{2/}

Procedimiento para la tramitación de subpréstamos

En los casos de préstamos globales, debe indicarse los procedimientos para la recepción de solicitudes de crédito, su análisis, tramitación, dictámenes y todo otro proceso que culmina con la aprobación o rechazo del subpréstamo solicitado. Para cada paso de este proceso, se indicará la participación y responsabilidad de las diferentes dependencias del ejecutor o de las entidades financieras intermedias participantes, las funciones y responsabilidades de cada una de ellas, como así también el tiempo que como promedio se estima habrá de tomar el trámite completo.

Calendario de Inversiones

En base al calendario de ejecución del Proyecto, presentar un calendario estimado de inversiones y gastos por semestre, con indicación de fuente de recursos para:

1. Otorgamiento de subpréstamos;
2. Inversiones en obras y adquisición de bienes;
3. Gastos de personal (consultores y personal local que se incrementa en la entidad ejecutora); y
- h. Total de inversiones y gastos por semestre.

Supervisión y control de la ejecución del Proyecto y del uso de recursos

Informar acerca del mecanismo y recursos técnicos y administrativos de que dispone la entidad ejecutora para la supervisión de la ejecución del Proyecto y forma como operaría la fiscalización del uso de recursos.

Inversiones anteriores a la eventual aprobación del préstamo

Normalmente el Banco reconoce y financia inversiones que se realicen después de la firma del contrato de préstamo. Si en casos especiales se prevén inversiones en el Proyecto antes de la eventual firma del contrato de préstamo, pero posteriores a la presentación de la solicitud,

^{2/} En los préstamos globales de crédito, el período máximo para comprometer recursos es de tres años, y para su desembolso, de cuatro años.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Ejecución del Proyecto	CAPITULO 5
---	---------------------------------------	------------

Inversiones (Cont.)

y dentro de plazos establecidos por el Banco ^{*/}
dichas inversiones deberán indicarse detallada-
mente con señalamiento de la fecha de las mismas.

^{*/} Consultar con la Representación sobre dichos plazos.

GUIA PARA LA FORMULACIÓN DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO 6
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	Proyecciones financieras

Objetivo

El propósito de este capítulo es proporcionar información suficiente que demuestre la capacidad de las instituciones involucradas para atender satisfactoriamente los compromisos financieros derivados de la ejecución y operación del Proyecto, sin perjuicio de la atención de otras responsabilidades financieras que a ellas correspondan. En particular, se deberá verificar la capacidad para: a) efectuar el aporte local al Proyecto, b) atender, cuando corresponda, el servicio del préstamo solicitado, c) financiar los gastos recurrentes del Proyecto y d) satisfacer los demás compromisos financieros de la institución considerada. Este capítulo debe incluir la siguiente información:

Proyecciones financieras

1. En el caso de organismos con autonomía financiero-administrativa y patrimonio independiente:

Pronóstico en dólares estadounidenses del Proyecto bajo estudio por un período de diez años, comprendiendo:

- . Estado de resultados (Pérdidas y Ganancias)
- .. Estado de Origen y Aplicación de Fondos
- ... Explicación detallada de los supuestos utilizados para cuantificar los conceptos incluidos, con aclaraciones o comentarios apropiados para facilitar su interpretación, especialmente los relacionados con:

Fuente y forma en que se producirían los aportes de la contrapartida local;
Forma en que se efectuarían los desembolsos del préstamo del BID.

Pronóstico en dólares estadounidenses de la entidad o entidades ejecutoras por un período de diez años, comprendiendo las operaciones del Proyecto y mostrándolo en los siguientes cuadros:

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Proyecciones financieras	CAPITULO 6
---	---	------------

Proyecciones financieras
(Cont.)

- . Estado de Resultado (Pérdidas y Ganancias)
- .. Estado de Origen y Aplicación de Fondos
- ... Estado Pro-forma de Situación Financiera.

Se acompañará igualmente una relación detallada de las bases de cálculo utilizadas, indicando las fuentes de financiamiento previstas para cubrir eventuales faltantes de fondos y otros comentarios que fuesen pertinentes.

2. En el caso de organismos que forman parte de la Administración Pública o Gobierno Central, que derivan sus ingresos básicos de transferencias provenientes del Presupuesto Nacional:

Pronóstico en dólares estadounidenses del Proyecto bajo estudio por un período de 10 años.

Pronóstico en dólares estadounidenses de los requerimientos del organismo ejecutor en cuanto a fondos nacionales y a fondos externos por un período de cinco años, mostrando en forma desglosada, la aplicación a gastos de funcionamiento e inversión, indicando para cada concepto dos grandes grupos:

- . Sin el programa o proyecto en consideración.
- .. Asumiendo la realización del programa o proyecto bajo estudio.

Relación detallada de las hipótesis de trabajo utilizadas, con aclaraciones o comentarios apropiados para facilitar su interpretación.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Proyecciones financieras	CAPITULO 6
---	---	------------

Proyecciones financieras (Cont.)

Se acompañará igualmente una relación detallada de las bases de cálculo utilizadas, indicando las fuentes de financiamiento previstas para cubrir eventuales faltantes de fondos.

3. Comentarios de las proyecciones financieras, considerando particularmente lo siguiente:

Impacto del Proyecto en los resultados y situación financiera.

Capacidad financiera para atender a los compromisos por ejecución y operación de las obras del Proyecto.

Capacidad y disponibilidad de fondos para financiar el aporte local al Proyecto de acuerdo al calendario de inversiones.

Capacidad financiera para atender al servicio del préstamo solicitado. ^{*/}

Capacidad financiera para atender al servicio de deudas existentes.

4. Medidas de carácter financiero destinadas a:

Posibilitar o mejorar la ejecución y la operación del Proyecto.

Asegurar la conservación de las obras (cuando corresponda) una vez ejecutado el Proyecto.

^{*/} Señalar las condiciones financieras que se han tomado como base para calcular el servicio del eventual préstamo.

GUIA PARA LA FORMULACION DE SOLICITUDES DE PRESTAMOS AL BID	Sector:	CAPITULO 7
	AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	
	Asunto:	Evaluación socioeconómica

Objetivo

Este capítulo tiene el propósito de aportar elementos de juicio que permitan apreciar los beneficios sociales y/o económicos que se espera lograr con el Proyecto, en relación con los esfuerzos económicos y financieros que deben realizarse para ejecutarlo. Este capítulo debe incluir la siguiente información:

Análisis general

Indicar en forma breve y concreta, los elementos de juicio que permitan el análisis de la contribución del Proyecto al desarrollo económico y social del país, en base a sus efectos en las regiones donde se ejecutaría, y mostrar el grado en que los beneficiarios elevarían sus niveles de ingreso y de vida como consecuencia del mismo. Entre dichos elementos de juicio podrían señalarse, entre otros, los siguientes:

1. Relación del Proyecto con los planes nacionales de desarrollo económico y social. Señalar dicha relación, y en especial, con la parte relativa al sector agrícola-forestal y la prioridad que se le asigna dentro de ellos.
2. Contribución a la elevación del nivel de vida de la población en base a los ingresos que se estiman para los beneficiarios directos del Proyecto, y otros efectos económicos y sociales en el resto de la población rural de la zona del Proyecto.
3. Contribución del Proyecto al aumento de la producción y productividad forestal, comparando la situación existente antes de su ejecución y la que se espera alcanzar como consecuencia del Proyecto.
4. Mejoramiento del nivel de ocupación. Deberá considerarse el mayor nivel de empleo que habría de generarse como consecuencia del Proyecto. En cuanto a la ocupación indirecta que originaría el Proyecto (sector industrial, sector transporte, etc.), se harán estimaciones con indicación de las bases adoptadas para ello.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Evaluación socioeconómica	CAPITULO 7
---	--	------------

Análisis general
(Cont.)

5. Contribución al aumento de las exportaciones de productos forestales y/o sustitución de importaciones. Hacer estimaciones para el año de pleno desarrollo del proyecto, y sus efectos en la balanza de pagos del país.
6. Conservación y mejor uso de los recursos naturales renovables. Indicar si las tierras a utilizar son estrictamente de aptitud forestal, o si se utilizarían también tierras de aptitud agrícola o ganadera justificando en este último caso, dicha utilización. Cómo contribuiría el Proyecto a la protección de cuencas hidrográficas y a la mejor conservación de los recursos naturales renovables.
7. Otros. Indicar cualquier otro aspecto que pueda servir para apreciar la utilidad económica y social del Proyecto.

Justificación socio-económica

Esta justificación se fundamentará y determinará por la suma de los resultados directos e indirectos que se esperan obtener del Proyecto. A este efecto, se sugiere proceder así:

1. Presentar un análisis de la situación existente en la región o regiones de ejecución del Proyecto que comprende, entre otros:^{*/}

volumen y valor de la producción forestal anual;

características y costos de su procesamiento y comercialización;

características y niveles del ingreso familiar;

magnitud del desempleo y/o subempleo;

cualquier otro indicador de posible medición.

^{*/} En el Capítulo 2, Marco de Referencia del Proyecto, se presentaría el detalle de la situación existente. En esta parte se ofrecería una síntesis con referencias, en los casos pertinentes, a la información brindada en el Capítulo 2.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Evaluación socioeconómica	CAPITULO 7
---	--	------------

Justificación socio-económica (Cont.)

2. En base a las metas totales establecidas^{*/} para la ejecución del Proyecto, se analizará el impacto que se espera de las diversas inversiones y acciones que se realizarían. Dicho análisis tomará en cuenta:

incremento de los rendimientos unitarios y del volumen y valor de la producción forestal;

mejoras que se introducirían en el procesamiento y comercialización de la producción forestal que conducirían a una reducción de costos unitarios y/o mejoramiento de la calidad de los productos finales y a un aprovechamiento integral de los productos del bosque;

mejor aprovechamiento y conservación de las tierras;

incremento de las fuentes de empleo;

mejoramiento del nivel de ingreso y de vida de la población beneficiaria; y

cualquier otro indicador que refleje cambios sociales y económicos en relación con la situación existente antes de ejecutarse el Proyecto.

3. La presentación de las dos situaciones, con y sin el Proyecto, con conocimiento preciso de las inversiones a efectuar para el logro de las metas propuestas, darían elementos de juicio básicos para la justificación social y económica del Proyecto.

Tasa interna de retorno y valor presente neto

La corriente de beneficios generados por el Proyecto, tomando como base el valor bruto incremental de la producción expresada en precios a nivel del productor, debe ser desarrollada junto con el flujo de costos de producción incremental y de inversiones nuevas, a fin de determinar su tasa interna de retorno y/o el valor presente neto.

^{*/} Estas metas físicas deben basarse en supuestos técnicos aceptables que demuestren que el Proyecto es técnicamente viable y representa la mejor alternativa disponible en las condiciones existentes.

Sector: AGRICULTURA - DESARROLLO FORESTAL	Asunto: Evaluación socioeconómica	CAPITULO 7
---	--	------------

Evaluación de Impacto
y obtención de datos

Con el objeto de medir el impacto físico, económico, social y financiero del proyecto terminado, normalmente es necesario establecer un sistema que permita obtener la información estadística básica sobre los resultados del proyecto con relación a sus objetivos. La solicitud deberá establecer, en este sentido (1) cuál es la unidad, en la agencia ejecutora, que tendrá la responsabilidad de preparar una lista de datos básicos, previo a la ejecución del proyecto y de obtener periódicamente un mínimo de datos sobre los resultados del proyecto y (2) cuáles datos estarán en las listas correspondientes.

Con este fin se estipulará en el eventual contrato de préstamo cuál es la entidad responsable y los mecanismos para la obtención y remisión periódica al Banco de esta información.

Si las cláusulas del eventual contrato incluirán especificaciones de que el prestatario se compromete a efectuar un estudio analítico de evaluación ex-post, después que el proyecto se haya completado (v.g., de 2 a 5 años después), se deberá señalar cuál es la entidad que realizará dicha evaluación y cuáles son los términos de referencia correspondientes.

JICA

